

マルセン



平成28年度 マルセン13号

発行日/平成29年3月
発行所/公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
所在地/〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号
電話/(086)800-0077 ファックス/(086)800-0055
URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)



公益財団法人
マルセンスポーツ・文化振興財団



CONTENTS

ごあいさつ	2
財団法人の概要	3
役員・評議員名簿	6
平成 28 年度 事業報告	7

I 公益事業

第1章 助成事業関係

1 スポーツ活動に対する助成	7
2 文化活動に対する助成	9

第2章 表彰事業関係

1 マルセン文化大賞	11
2 マルセン特別賞	11
3 マルセン賞	11

贈呈式

受賞者からのひとこと

1 マルセン文化大賞	高木 聖雨	14
2 マルセン文化特別賞	島村 光	15
	森山 知己	16
3 マルセンスポーツ賞	梅木 真美	17
	関西高等学校体操競技部	18
	齋藤 愛美	19
	佐藤 友祈	20
3 マルセン文化賞	小倉 綾乃	21
	玉置 里美	22
	寺坂 昌三	23

ホットコーナー	岡山スポーツ、早くも全開! 2017 年年初 3 題	24
	50 回迎えた院展岡山会場 革新に挑む同人の大作と向き合い、語り合う	26

第3章 イベントの開催

1 スポーツ	28
2 文化	28

第4章 広報啓発育成事業

II 財団の活動

法人管理

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について	32
助成事業申請書	33
同 記載例	34

資料

事業の記録 助成 表彰 イベント・後援等	35
平成 27 年度 収支計算書	43
貸借対照表	44



マルセンスポーツ・文化振興財団は、岡山県のスポーツ・文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に設立し、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行しました。岡山県を元気に活動をし、設立より13年目を迎えることができました。これも運営にあたりご協力をいただきました皆さまのおかげと、厚く御礼申し上げます。

平成28年度もスポーツ・文化活動に対する助成、表彰、スポーツ・文化活動に関するイベント開催、広報啓発活動及び後援・協賛を実施してまいりました。特に今年度は本県において全国高等学校総合体育大会が実施されたこともあり、岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部のご支援をいただき、「ソフトテニス教室」を実施いたしました。また、日本美術院のご支援を頂き、地元井手康人(同人)先生(第7回マルセン文化大賞)による「日本画教室」を実施するなど、ご縁に恵まれて充実した活動を行うことができましたこと、お力添えいただきました皆さまに感謝いたしますと共に、今後も、県民の皆さまのお役にたてますよう活動してまいりたいと考えております。

この度、平成28年度当財団活動の記録といたしまして「マルセン」第13号の発刊の運びとなりました。どうぞ高覧いただければ賜れば幸いに存じます。発刊にあたり、ご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。

今後とも地域の皆さまのスポーツ・文化活動に貢献できますよう一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
理事長 千原 多美子

財団法人の概要

I 概要

マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て財団法人として設立されました。その後、国における公益法人制度の抜本改革として制定された公益法人制度改革に係る3法が平成18年6月2日に公布。平成20年12月1日施行。平成25年4月1日、公益財団法人として新たに歩み始めました。

当財団は、定款第3条に「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現に寄与することを目的とする。」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
- 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
- 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
- 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
- 5 その他目的を達成するために必要な事業 を定め活動しております。

II 沿革 (概要)

平成16年2月20日	財団設立
平成16年2月27日	事務所を岡山市富町二丁目4番4号に設置
平成16年3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛(第23回山陽女子ロードレース大会)
平成17年2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年3月10日	広報誌「マルセン創刊号」発刊(表紙 高橋秀氏「InAria『宙』」)
平成17年3月11日	第1回広報啓発育成事業(チケットプレゼント)実施(岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会)
～ 以下 抜粋 ～	
平成18年1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年4月1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年8月4日	コミュニティライブラリーの設置(岡山市駅前・岡山会館1階) 「晴れの国おかやま国体写真展 ああ感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月3日	第1回文化イベント開催(川島 基ピアノリサイタル)
平成19年11月2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007岡山」「生涯学習見本市」に出展
平成20年3月8日	第1回スポーツイベント開催(少年サッカー教室(岡山湯郷ベル))
平成20年12月1日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる
平成21年7月17日	事務所を岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ移転
平成22年8月12日	新田佳浩氏(スポーツ大賞)表敬訪問
平成23年7月8日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成23年7月26日	RSKラジオ「おかやま元気応援団」放送開始(活動助成団体による活動状況)

平成 24 年 9 月 21 日	公益法人認定に向けて「移行認定申請書」提出（岡山県知事）
平成 25 年 3 月 8 日	岡山県公益認定等委員会から移行認定答申
平成 25 年 3 月 18 日	認定通知書（交付）
平成 25 年 4 月 1 日	公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団と改称
平成 25 年 6 月 26 日	定時理事会及び定時評議員会において「収益事業の廃止及び定款の一部変更（案）」及び「定款変更申請」承認
平成 25 年 7 月 20 日	第 1 回岡山県文化のつどい開催「美作国建国 1300 年」（共催）～津山洋学・知は海より来る～ 講師 白井洋輔氏・下山純正氏
平成 25 年 8 月 13 日～ 18 日	創立 10 周年記念展「表彰者色紙展及び自然と遊ぶ写真展」の開催（写真提供 監事 信朝 寛氏）
平成 25 年 9 月 12 日	岡山県老人福祉施設協議会へ「写真の贈呈」
平成 25 年 12 月 6 日	定款変更認定（収益事業廃止）
平成 26 年 6 月 4 日	ホームページをリニューアル
平成 26 年 9 月 15 日	財団新 CM 放映開始。
平成 27 年 8 月 10 日～ 11 日	高体連ソフトテニス専門部強化事業に講師派遣（職員：杉本瞳）
～平成 28 年度～	
平成 28 年 4 月 1 日	田中健治氏（前財団事務局長）顧問に就任
平成 28 年 4 月 2 日	高体連ソフトテニス専門部強化事業に講師派遣（～ 3 日）
平成 28 年 4 月 19 日	チケットプレゼント（川島基ピアノリサイタル）
平成 28 年 5 月 20 日	第 1 回選考委員会開催（第 13 回マルセン賞候補者選定） 書面による臨時第 1 回理事会の開催（臨時評議員会の開催）
平成 28 年 6 月 1 日	平成 27 年度監査実施（～ 2 日）
平成 28 年 6 月 3 日	文化教室「第 1 回井手康人の日本画教室」（社会人対象）開催
平成 28 年 6 月 9 日	書面による臨時選考委員会開催（イタリア音楽研究会 名義後援） 平成 28 年度定時第 1 回理事会及び臨時第 1 回評議員会の開催
平成 28 年 6 月 15 日	チケットプレゼント（第 71 回春の院展倉敷展）
平成 28 年 6 月 18 日	スポーツ教室「第 1 回ソフトテニス教室」開催
平成 28 年 6 月 24 日	書面による定時評議員会の開催
平成 28 年 6 月 26 日	スポーツ教室「第 2 回ソフトテニス教室」開催
平成 28 年 6 月 29 日	第 1 回井手康人の日本画教室参加者作品発表会開催（～ 7 月 10 日）
平成 28 年 8 月 8 日	チケットプレゼント（マイ・ハート・in さん太）
平成 28 年 8 月 22 日	書面による臨時選考委員会開催（岡山県体育協会 名義後援）
平成 28 年 9 月 9 日	チケットプレゼント（山陽新聞レディースカップ）
平成 28 年 9 月 28 日	書面による臨時選考委員会開催（岡山県立美術館 協賛）
平成 28 年 9 月 29 日	第 71 回国民体育大会に千原多美子理事長・杉本瞳職員（ソフトテニス成年女子選手）を派遣（～ 10 月 4 日）
平成 28 年 10 月 27 日	チケットプレゼント（種まく旅人～夢のつぎ木～）
平成 28 年 10 月 29 日	笠岡市主催中学生を対象としたソフトテニス教室に杉本瞳職員を派遣
平成 28 年 11 月 4 日	第 13 回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金贈呈式開催
平成 28 年 11 月 21 日	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2016」放送開始（～ 12 月 27 日）
平成 28 年 12 月 17 日	監事信朝寛氏退任
平成 28 年 12 月 20 日	チケットプレゼント（再興第 101 回院展岡山会場 50 周年記念展）
平成 28 年 12 月 23 日	文化教室「第 2 回井手康人日本画教室」開催（高校生対象） スポーツ協賛（第 35 回山陽女子ロードレース大会）

平成 29 年 1 月 2 日	第 2 回井手康人の日本画教室参加者作品発表会開催（～ 15 日）
平成 29 年 1 月 11 日	チケットプレゼント（第 31 回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトオーズ Vol2 室内楽コンサート）
平成 29 年 1 月 22 日	評議員馬越績氏退任
平成 29 年 2 月 15 日	書面による第 2 回臨時理事会（臨時評議員会 2 回 3 回開催日程）
平成 29 年 2 月 22 日	書面による第 2 回臨時評議員会の開催（監事選任） 小林彬二氏監事に就任
平成 29 年 3 月 1 日	第 2 回選考委員会開催（活動助成団体候補者、協賛事業選定）
平成 29 年 3 月 29 日	定時第 2 回理事会及び第 3 回臨時評議員会の開催 （㊦次年度事業予算事業計画、選考委員選任等、㊧評議員選任等）
平成 29 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン」13 号発刊

役員・評議員名簿

役員

平成29年3月31日現在

役職名	氏名	会社名
理事長	千原 多美子	(株)成通 取締役
常務理事	千原 秀則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理事	加計 孝太郎	(学)加計学園 理事長
〃	川崎 誠治	(学)川崎学園 理事長
〃	越宗 孝昌	(株)山陽新聞社 代表取締役会長
〃	吉岡 洋介	(公財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長
監事	衣笠 和孜	岡山療護センター センター長
〃	信朝 寛	元岡山県審議官(12月17日退任)
〃	小林 彬二	元岡山県美作県民局長(2月22日就任)

五十音順 敬称略

評議員

役職名	氏名	会社名
評議員	石井 正人	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
〃	馬越 績	馬越税理士事務所(1月22日退任)
〃	川端 英男	テレビせとうち(株) 代表取締役社長
〃	北尾 好昭	(株)瀬戸内海放送 常勤顧問
〃	千原 行喜	(株)成通 代表取締役社長
〃	中川 洋一	西日本放送(株) 岡山本社 中国総支社 支社長
〃	中静 敬一郎	岡山放送(株) 代表取締役社長
〃	野崎 誠二	岡山ネットワーク(株) 代表取締役社長
〃	原 憲一	山陽放送(株) 代表取締役社長
〃	平松 掟	平松弁護士事務所(元日本弁護士連合会副会長)
〃	藤田 土義	(株)成通 相談役

五十音順 敬称略

顧問

役職名	氏名	所属
顧問	伊東 香織	倉敷市長
〃	大森 雅夫	岡山市長
〃	田中 建治	前財団事務局長

五十音順 敬称略

平成28年度 事業報告

(I)公益事業

第1章 助成事業関係

岡山県内において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するため下記の諸事業に助成を行いました。

1 スポーツ活動に対する助成 (応募数 /20 件 採用件数 /9 件)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	岡山市バドミントン協会	岡山市競技力向上事業 オリンピック経験者招聘事業	平成28年11月23日(水・祝)に岡山市総合文化体育館(メインアリーナ)において、北京オリンピック出場の廣瀬栄理子選手が来岡され、平成28年度オリンピック経験者招聘事業(選手対象)を開催しました。 人気選手の来岡で参加は総勢106名となりました。午前10時頃まで、日頃全日本で行っているトレーニングを取り入れたアップを体験しました。参加ランクも様々なので、小学生・中学生・高校生を16面に振り分けフットワーク後、基礎打ちと組立て練習メニュー(ノック)をこなした。 12時15分からチャレンジゲームでダブルス【廣瀬・横関】対【各ペア】及びシングルスを時間交代で実施した。昼食後13時30分より、各ランクでシングルス・ダブルスとリーグ戦形式により、ゲームを中心に実施した。講師からは、決して特別な練習を行っているわけではないけれど、フットワークでは大きく動く(端から端)を意識して、練習形式にとらわれず、練習内容を理解するように助言された。 日頃の練習で人からのアドバイス等を意識した克服練習がどれだけできるかが課題で、肉体的にはつらいけれど楽しいと思える練習と今日のアドバイスに心がけてほしいと講師から激励を受けた。サイン会の実施と全体で記念写真を撮影して終了しました。
2	岡山城・後楽園カヌー駅伝大会実行委員会	第5回岡山城・後楽園カヌー駅伝大会	第5回岡山城・後楽園カヌー駅伝大会開催に当たり、平成27年12月12日に主催となる岡山城・後楽園カヌー駅伝大会実行委員会の第1回打ち合わせを開催以来、開催要項、開催案内、協賛依頼等の活動を開始し、大会参加者、協賛者、運営協力者の募集を行った。実行委員会は月に1回以上の会議を開催し、大会参加者の応募状況、協賛者の状況、関係団体などへの後援協力の回答状況、大会準備の進捗状況などを確認しながら進捗管理を行いました。協賛・助成・協力団体として、備前岡山京橋朝市実行委員会、岡山旭東病院、マルセン財団、アオキカヌーワークス、サッポロビール、マホロバホンダカヌースクール、旭川遠泳実行委員会、こうなんクリニック、日本スポーツ鍼灸トレーナー協会、朝日医療大学校、(公社)岡山県鍼灸師会を得ました。後援団体として国土交通中国地方整備局岡山河川事務所、岡山県、岡山市他8つの団体を得られました。これらの関係団体は大会プログラムに表示してあります。4月9日はコース解放とタイムトライアルによるコースチェックに当てました。夕方から夜にかけては朝日河川敷で有志で親交を図るべく前日祭を開催しました。4月10日は全国から70チーム280名の選手と100名を超えるスタッフ、協力者のもとに第5回岡山城・後楽園カヌー駅伝大会が開催されました。北は仙台、南は熊本からの参加者がありました。競技はとも盛り上がり、遠路参加していただいた選手も含めて岡山県の景勝地の中での大会を楽しんでいただけたと考えます。通常、カヌーフィールドは海や川ですが、決して都市部や景勝地ではなく、そのような意味で参加者は得難いシチュエーションでのカヌーの大会を経験できたものと思います。会場の運営、駅伝競技の運営、競技結果のまとめなどは前回までの大会を通じて得たノウハウを元に完成形ともいえる大会運営ができたと考えています。
3	おokayamaビーチスポーツ協会	おokayamaビーチスポーツフェスティバル2016	◆イベント内容 【ビーチバレー部門】・元オリンピック選手 佐伯美香コーチによるビーチバレー教室、ビーチバレーストラックアウト 【ビーチテニス部門】・日本ランキング1位 山本直見選手によるビーチテニス教室、ビーチテニスエキシビジョンマッチ 大会 【ビーチサッカー部門】・ビーチサッカー イタリアセリエA 大川内謙選手とビーチサッカー対決、ビーチサッカーキックターゲット 【オープンウォータースイミング部門】・2015ユニバーシアード日本代表 三村浩介選手によるスイミング教室、オープンウォータースイミング体験 【ビーチヨガ部門】・インド政府公認ヨガインストラクター生本直也氏によるビーチヨガ体験教室 【トライアスロン部門】ビーチラン体験 スイムラントライアウト 【ライフセービング部門】・海と命の授業(海を知り、まず自分の命を守る。そして、周りの人たちの安全に配慮できる思いやりを育む授業)、ビーチフラッグ大会 【その他】・全員参加でのビーチフィットネス、キッズダンスショー ◆スタンプラリーを実施:競技を体験することにスタンプ。すべての競技スタンプを集めるとソフトクリームをプレゼント ◆マルセンスポーツ・文化振興財団からの助成事業としてポスター、パンフレットにて公表しました。
4	倉敷フレンドベースボール	倉敷ワールドカップソフトボール大会	平成28年8月7日(日)、倉敷市早高、六百川グラウンドにて第7回倉敷フレンドワールドカップを行いました。予選を勝ち抜いた、16チームが集まり炎天下の中、全力プレーで熱戦が繰り広げられました。優勝・準優勝・3位のチームには、メダルの授与がありますが、今大会助成を受けたことで、記念のキーホルダーを作成し参加者全員に配布することができ、子ども達も大変喜んでおりました。猛暑日の中、子ども達も大変疲れたと思いますが、体調を崩すことなく無事に大会を終了することができました。
5	山陽剣道教室スポーツ少年団	低学年用剣道防具の購入	平成28年11月4日に授与式にて助成を受け、12月初めに低学年用剣道防具を5組発注し、平成29年1月中旬購入しました。 現在、低学年は5名が在籍し、そのうち1人は本年度11月からの入団です。 初心者はまだ垂と胴だけ装着していますが、真新しい防具に大喜びです。貴財団からの助成により、低学年の児童の受け入れ態勢が整ったので、育成会のほうで新たに団員募集のチラシを作成してもらい、地域の小学校やお店に配布することができました。

2文化活動に対する助成 (応募数 /52 件 採用件数 /13 件)

6	勝央ボーイズスポーツ少年団	学童軟式野球	勝央ボーイズスポーツ少年団は、15周年という節目にユニフォームを新調し、団員の士気を高めつつ平成28年4月10日の全日本学童軟式野球大会 美作地区予選大会に臨みました。1回戦、2回戦と勝ち上がりましたが、残念ながら準決勝で敗れ、県大会への出場はなりませんでしたが、しかしながら、開幕戦をベスト4という好成績で終えた事に、次回への手応えを感じております。今回の悔しさをバネにし、7月に行われる岡山県学童軟式野球大会 美作地区予選大会に向けて日々の練習に励んでいます。ご助成いただき、ありがとうございます。
7	NPO法人すみれ会「井笠ハッピーフレンズ」	ソフトバレーボール活動	12月4日、岡山県赤磐市赤坂体育センターにて、「第1回ソフトバレーボールin東備」が行われました。障がいのある人が競技を通じスポーツの楽しさを体験、障がいのある人の社会参加を促進する目的に行われています。 今回の大会は県内から6チーム集まり、トーナメント方式で試合が行われた結果、3位に終わりました。助成金でいただいたビデオカメラは1試合目よりボランティアスタッフによる解説入りの録画を開始。普段の練習と本番の試合での選手の動きの違い、コート内外での販促がどんな時にあるのか。またどんな場面がハッピーフレンズの強みなのかを記録として収めることができました。ご助成いただきありがとうございます。
8	備前市体育協会	第65回備前市えびす駅伝競走大会	「備前市えびす駅伝競走大会」は県内でも有数の歴史と伝統があり、昭和28年2月10日、「恵美須宮はだか祭奉賛第1回駅伝競走大会」として開催以来、「えびす駅伝」としてその名を変えることなく、今日に至りました。第65回大会はマルセンススポーツ・文化振興財団様より助成をいただき、15年振りにコースの変更を行いました。また中学校の部を参加しやすいように区間を短縮し、時間をずらして行いました。体育協会会議でもその旨を説明し、助成を受けた旨は大会要項への記載、要項のホームページ掲載、公式プログラムへの掲載、当日のアナウンスで公表いたしました。大会は冒頭で本大会の歴史を飾った(中学時代に区間賞獲得、但し男子の部として!)重友梨佐選手への体育功労賞受賞式、全国高校男子駅伝で岡山県勢初優勝を飾った倉敷高校チームの優勝旗返還など、全国的にも有名な選手の紹介、今年の箱根駅伝出場選手の新コース5区への登場など、華やかな雰囲気の中で行われました。結果は全国優勝メンバーを半数登用した倉敷高校の10連覇達成となりました。助成金は電子計測区間を3区間とし、豚汁のサービス、警備体制の強化に活用いたしました。今年も参加チーム138チーム、参加者1,100人は岡山県下最大規模の大会になりました。
9	レインボーメイト	「視覚障害者と健常者との体力づくり」の充実のための伴走者指導育成研修	今回の助成を受けて「伴走講習」を企画、実施しました。講師は岡山市の「ももたろうパートナーズ」を迎えて、専門的な知識と実技を学びました。津山市民を中心に41名が受講しています。伴走講習では同時に視覚障害者との接し方も学びました。 伴走講習を開催するに当たって津山市の広報誌、F M津山、テレビ津山、山陽新聞、津山朝日新聞など広く市民に「伴走講習会」の広報活動を行っています。

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	一茶庵岡山支部	一茶庵岡山支部30周年記念煎茶会一日常から心を解き放つ	平成28年4月3日ルネスホールにて一茶庵岡山支部30周年記念煎茶会を開催した。日常から心を解き放つ、煎茶文化の愉しみの世界の一端を386名の人々に紹介した。お運び頂いた多くの方々には煎茶会は初めてという方も多く、皆様から嬉しい反響を頂いている。幕末から明治、大正と煎茶文化の力強い時代の空気を感ずるルネスホールにて開催でき、助成して頂いたことをありがたく感謝している。新たな煎茶文化普及活動ができたと思う。
2	「犬飼川水辺の楽校」の活用を考える会	手延べうどんづくりに挑戦!	「犬飼川水辺の楽校」体験農園で鴨方西小学校の児童に対して、地域の財産である手延べうどんづくりの理解を図るとともに、体験活動を通じて地域を愛する心情を育てる目的で行った。児童の小麦栽培と手延べうどんづくりは、平成27年11月に4年生が小麦の種蒔きを行うところから始め、平成28年2月には麦踏みを行った。年度が替わり5年生になった児童が、5月の小麦の生育に合わせて網を張ってすずめの被害に備えた。6月には小麦の収穫を行い、収穫量は平年並みの約30kgであった。助成金で、うどんをこねるための「こね鉢」12個とのぼした生地を切るための「麺切り包丁」12本、茹でたうどんをすくうための大型の「讃岐たも」1本を買取することができました。こね鉢と麺切り包丁を児童に使用させることにより、児童の手でもこねやすく、麺の太さを揃えることができるようになり、本格的な道具を使用した本格的なうどんづくりを体験させることができるというもう一つの効果もありました。
3	岡山県民謡民舞連盟	岡山県民謡民舞連盟10周年記念公演「花紅柳緑」	岡山県民謡民舞連盟10周年記念公演「花紅柳緑」と題し885席を有する岡山県倉敷の観光地の中央、倉敷市芸文館で記念公演を開催。舞台の構成・演出、舞台監督、ステージデザイン、音楽監修や編曲などをプロの方に依頼できました。県下のアマチュア民謡団体では通常、出演者が既存の譜面をなぞり、舞台・照明等は会場の担当者などに任せることがほとんどです。内容はマンネリ化し集客も少なく、愛好者が少ないというイメージを払拭でき、沢山のお客様に今後の定期公演へのご期待とご支援を得ることができました。岡山県内の楽曲をメインにした舞台構成。また全国コンクール受賞曲「貝殻節」(総理大臣賞受賞)や発掘民謡民舞「ご後園節」など岡山民謡の発信。また、幼児・小学生の育成など目的に付随した内容「八木節」など。 曲目：下津井節、しげさ節、鞆の浦大漁節、隠岐祝いの音頭、宮津節、二声上げ音頭、北の盆唄、秋田船方節、貝殻節、おこさ節、よさこい鳴子踊り、伊勢音頭、天竜下れば、花笠音頭、本荘追分、宇野三ツ星盆踊り唄、磯原節、元唄貝殻節、津軽甚句、兵庫節、豊島餅搗き唄、九十九里大漁木遣り唄、八木節、安来節、喜代節、勝山土搦唄、牛深ハイヤ節、米山甚句、十三の砂山、因幡大黒舞、作州追分、越中小原節、千屋牛追唄、鶴山さんさ、ご後園節、新庄田植唄、備中ござおり唄、南部俵積唄、音戸の舟唄、そーらん節、網のし唄、川越舟歌、秩父音頭 十周年を迎えお互いに蓄えてきた舞台力を発揮することができました。
4	岡山淡水魚水族館	岡山淡水魚水族館の濾過装置更新事業	岡山淡水魚水族館には大型水槽(90~120cm)が17基あります。今まで大型水槽は、1基につき4個の小型濾過装置を使用して浄化していましたが、数が多いのでメンテに時間がかかっていました。また、そのほとんどが老朽化し、濾過能力も低下していました。助成で11基の水槽に大型濾過装置が適用できました。その結果、水槽内の水質が向上・安定すると共にメンテが省力化できたので飼育魚も小生も大いに喜んでます。
5	神楽尾城跡保存協力会	神楽尾城跡保存協力会 30周年記念誌「神楽尾」発行	神楽尾城跡の維持、伝承に取り組む当会の創立30周年記念誌「美作の中世山城神楽尾」を発刊した。A4版、オールカラー176ページ、図や写真をふんだんに使用1500部を発刊した。公益財団法人マルセンススポーツ・文化振興財団様からの助成を受けた旨は記念誌の175ページに記載、記念誌の発行に当たった編集代表 宮澤靖彦のあいさつ文、会長 西山正美のあいさつ文でお礼を述べている。また、会の役員会、総会でも助成を受けたことを何度も確認をした。美作の中世山城連絡協議会をはじめ歴史関連団体での会合で伝えている。記念誌は美作地域3市5町2村の教育委員会、歴史資料館、公立図書館や津山市の大学、高専、高等学校、中学校、小学校、公民館、関係する市の施設、また、県立図書館、県内の歴史団体などに贈呈している。 記念誌の内容は、地域住民らによる長年の研究成果と活動の軌跡をまとめている。また、同城跡の特色と歴史、保存協力会の活動報告の3部構成となっている。
6	笠岡市中央公民館現代詩講座	「あお20集」の出版	「あお」10集までは、講座生が文字入力・編集・印刷・製本まで全て手作りにした。11集から製本だけは印刷業者に依頼した。20周年記念号で「マルセンススポーツ・文化振興財団」の助成を受けることができるとわかり、①元講座生の作品も載せる。②部数を増やし、市関係・報道機関だけでなく、広く贈呈する(各公民館・市街図書館)③講座生は文字入力だけして、印刷・製本は印刷業者に依頼することになった。ゆとりができたので、年度いっぱい詩の鑑賞や自作詩に取り組むことができ、充実した1年間になった。
7	吉備津彦神社	桃太郎像 修理	桃太郎の昔話は日本で一番読まれている昔話なのに、その像は岡山駅と桃の里と備前一宮の吉備津彦神社にしかありません。又、観光雑誌にも取り上げられ最近では遠方からの来訪者も増加しています。しかし、永年雨風に晒された為、褪せし、神域にふさわしくない状態です。「日本書紀」「古事記」に登場する皇族のひとりである吉備津彦命にふさわしい姿に修復し、子供達に郷土愛を育ててもらいたいし、又、観光にも一役買ってもらいたい。
8	グローバル広場 KOJIMA	グローバル広場 KOJIMA10周年記念にちゃんた講演会	にちゃんさんの講演題目は「違いを楽しみ力に変える～多文化共生新時代」。今の時代、そして私たちの活動にびったりの内容でした。当日は岡山マラソンや他にも色々なイベントがあり集客が心配でしたがどうにか形になりました。反応があり参加された方から良かったとの声がたくさん聞かれました。学習者には少し聞き取りにくい内容の京都弁だったと思います。10周年を節目にボランティアと日本語教室のOBでもあり児島在住の外国人のグローバル広場とのかかわりをDVDでの発表をはじめにあり、好評でした。私たちも改めて10年を振り返ることができました。 参考になった点は、お互いの違いを知り、認める、受け入れる所から新しい何かが始まるということでした。

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
9	コール・ロチェアノ	シルバー男声合唱団「コール・ロチェアノ」演奏会	平成25年1月に団を結成して以来、岡山県合唱フェスティバル、全日本男声合唱フェスティバル等で歌ってきた曲を中心として、来場の皆様にも親しみのある曲を加え、楽しんでいただけるように構成・演出を工夫して演奏会を開きました。助成金によってより多くの方に聞きに来てもらえるよう、入場無料の演奏会を開くにあたり、団員一人一人の負担を軽くして開催することができました。
10	cine/maniwa シネマニワ	シネマニワの映画カレッジ2016	“映画を発進、真庭から”をテーマに、映画文化の地域振興を目的に、平成19年にシネマニワを設立。以降、映画上映会&映画まつり、映画製作4本、映画教室&体験ワークショップ(映画上映、映画づくり)などを実施し、真庭市を拠点に毎年様々な映画文化活動を行ってきました。設立10年を目前に、平成28年は『映画を通じた文化教育・人材育成』に取り組みたいと考えています。具体的に、いまいちど地域に根差した映画文化の地域振興に注力するべく、映画カレッジを設け、県内外より講師を招き、平成28年4月より1年間、映画講座・教室を毎月開催することができました。 (前期/基礎編) 4月～8月 月1回映画上映&講座 ※定員約15名(毎月誰でも参加可能) (後期/実践編) 9月～3月 映画づくり講座&ワークショップ ※募集は1度のみ ※シナリオ講座、技術指導、映画準備・撮影・編集を行い、約10名で映画づくり シネマニワカレッジ2016(仮称)を開催することで、映画館のない地域で映画文化の振興を目指し地域コミュニケーションの活性化に繋げるとともに、より豊かな地域の文化教育の実現に寄与することができました。
11	つなぐ会	第4回「つなぐ…展」	平成29年2月8日(水)～12日(日) 瀬戸内市立美術館3階ギャラリー5で「第4回つなぐ…展」を開催しました。10時～17時入場無料で、展示は現代詩と絵画・陶芸・画文・きものアートデザイン・レリーフ・染色など。ライブは休日限定でお茶席・フルート・こども合唱・箏曲をしました。箏曲三上社は体験用の琴を2台常設し和洋楽譜に対応でき多くの市民が楽しくつまびく姿が見られました。「さくらさくら」や「チューリップ」の琴の旋律が会場に時折流れるのも心とむものでした。今回新たに賛助出品に松本剛太郎氏のレリーフ絵画を迎えました。総来場者数453名となり、ライブそれぞれ60～70名の参加者があり会員相互の学びと市民とのふれあいはかたのではありません。
12	もっと伝統工芸 備中漆展実行委員会	第3回もっと伝統工芸 備中漆展作品集作成事業	岡山県北西部、現在の新見市周辺は古くから漆の産地として知られ、中世の時代、京都・東寺の荘園、新見庄として栄えたところで、大量の漆を年貢として納めていたことが、先日ユネスコ世界記憶遺産に認定された「東寺百合文書」の新見庄関連の古文書にも記載があります。この漆は質もよく、仏像の修復にも使われたことが記録に残されています。明治時代から昭和20年代には年間に1000～3000kgもの漆が採取されていましたが、ダム工事などによる漆畑の水没や、高度経済成長による職人の出稼ぎや後継者不足がかさなり、衰退の一途をたどりました。しかし、備中漆の衰退を憂い、漆芸家や岡山県、関係自治体、企業などの協力により復興が模索され、平成6年から本格的に苗木の植栽が行われ、平成21年には漆を採取できるようになりました。 平成26年に備中漆復興20周年を記念し始まった、県下で活動する漆芸家と木工芸家に前年採取された備中漆を使っの作品製作事業。その集大成ともいえる28年度は、日本工芸会中国支部会員と新見市で活動する漆芸の「地域おこし協力隊」の総勢35名に備中漆を使った作品製作を依頼し、その成果展を備中漆山地のお蔭元でもある新見美術館で開催(平成29年2月11日～4月2日)予定です。備中漆を使って製作した作品の品質の素晴らしさとともに、伝統工芸の卓越した技術を紹介するために、その作品の数々を作品集に収め、後世まで伝えていきたいと考えています。作品は12月初旬までに出品、12月中旬に順次撮影を行い、画像を記録、展覧会開始までに記念作品集を製作することができました。
13	LOOP®	THE OKAYAMA SHIBAI 2016	演劇に参加・体験・創造することを通じて、岡山の演劇人口を増やす取り組みとして、①演劇に触れ、創造することの楽しさを感じてもらえる事業(ワークショップ、ウブ公演)、②県内演劇人が結集しレベルアップを図れる事業(ガチ公演)、③プロ劇団による質や実験性の高い事業(プロ公演)を3本柱に事業を展開することとした。 ◇夏の創作ワークショップ 8月19日(金)～21日(日) 参加者11名。劇団ajiの島貴之とコーポリアルタイムユニットtarinainikaを招聘し、「かもめ」を題材にワークショップ、すろおがにてショーイングを行った。 ◇プロ公演「オイディプス」9月1日(木)～4日(日) すろおが 観客180名。第七劇場により、きわめて実験性の高いギリシア悲劇の上演を行った。 ◇ウブ公演「あゆみ」9月10日(土)・11日(日) 旧内山下小学校体育館 観客400名。公募の市民17名が、円形劇場となった内山下小学校体育館で一人の女性の一生を群像劇として表現した。 ◇秋の創作ワークショップ 9月30日(金)～10月2日(日) 参加者17名。劇団山の手事情社の大久保美智子と振付家三浦宏之を招聘し、「ロミオとジュリエット」を題材にワークショップ、すろおがにてショーイングを行った。 ◇ガチ公演「とまれない12人」10月29日(土)・30日(日) 旧内山下小学校体育館/11月5日(土)・6日(土) 旧遷喬尋常小学校講堂 観客380名。旧内山下小学校と、真庭市の旧遷喬尋常小学校講堂にて、電車の客席を再現し、ノンストップコメディを上演した。

第2章 表彰事業関係

① マルセン大賞

平成27年度におけるスポーツ・文化活動において、著しい成績や文化の振興に貢献した個人又は団体。

【マルセン文化大賞】

●高木 聖雨【美術 書道】

- 平成27年度「改組 新第2回日展」の第5科書において、最高賞となる文部科学大臣賞に選ばれた。大臣賞は、不正審査問題が発覚した2013年から2年連続で見送られており、今年から復活した。受賞作「駿歩」は、得意とする中国の古代文字・金文を用いて横書きした大作。素朴で力強い書体を巧みにアレンジし、「現代的感觉にあふれた傑作」と評価された。今後の日本を代表する書家として嘱望されている。

また、平成26年度から郷土で開催されている高木聖鶴児童生徒競書大会に携わり、書の振興に尽力している。

※マルセンスポーツ大賞の該当者なし

② マルセン特別賞

平成27年度におけるスポーツ・文化活動において、特に優秀な成績や文化の振興に貢献した個人又は団体。

【マルセン文化特別賞】

●島村 光【美術 陶芸】

- 神社の狛犬のような細工物にとどまらず、抽象的な独特のフォルム、しかも窯変や緋襷のなかった平安、鎌倉時代の備前焼にも似た焼成の作品を次々と発表し、2015年春に開催された個展では多くの陶磁研究者が高く評価した。また平成27年度 第57回岡山県文化奨励賞、第74回山陽新聞賞受賞(文化功労)を受賞した。

●森山 知己【美術 日本画】

- 岡山空港に大型ステンドグラス昔話桃太郎原画を制作するなど、県内の文化財等貴重な資源を題材に、全国に向けてPRするとともに、平成13年度から岡山県美術展日本画審査委員、平成25年度からは天神山文化プラザ企画委員を務めるとともに県立美術館では児童生徒向けの数々のワークショップを実施している。さらに、氏の日本画の画材・描法などの研究は、日本画を受け継いでいくためには不可欠なものであり、果たされた役割は大きく、岡山県さらには日本における文化芸術振興に対する貢献度は極めて大きい。

※スポーツ関係の該当者なし

③ マルセン賞

平成27年度におけるスポーツ・文化活動において、優秀な成績や文化の振興に貢献した個人又は団体。

【マルセンスポーツ賞】

●梅木 真美【柔道】

- 2015アスタナ世界柔道選手権大会 女子78キロ級初出場で初優勝。海外勢の壁が厚い同階級で12年ぶりの日本人優勝を果たした。2016リオデジャネイロオリンピック出場。

●関西高等学校体操競技部【体操競技】

- ロサンゼルス五輪金メダルの森末慎二氏や、アテネ五輪金メダルの水鳥寿思氏ら各選手を輩出した名門であり、平成27年度全国高等学校総合体育大会 体操競技選手権大会 男子 団体総合2位、第70回国民体育大会 少年男子団体総合優勝。

● 齋藤 愛美 【陸上競技】

- 平成27年10月に開催された「第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体2015」に岡山県代表として出場した少年女子B100mにおいて、高校1年生歴代4位の11秒83の好記録を向かい風の中で記録し、見事優勝を果たした。高校において、全国級の先輩たちと一緒にハードトレーニングをする中で、中学時代と比較し200mの自己ベストを1秒以上更新するなど実力を一気に開花させ「第68回全国高等学校対校陸上競技選手権大会」にも出場を果たし、1年生ながら女子200mで第8位入賞のほか、女子4×100mにおいて第3位に輝くなど、各種大会において活躍しており、今後の活躍を認められ「第9回世界ユース陸上選手権大会」の日本代表にも選出されるなど2020年東京オリンピック選手として出場も期待されている。

● 佐藤 友祈 【車いす陸上競技】

- 21歳の時、脊髄炎により両足が動かなくなり、左手にも麻痺が残る。人生を悲観し引きこもっていたが、ある時、ロンドンパラリンピックの映像をテレビで見る。車いすで颯爽と風を切る選手たちの姿に衝撃を覚え、「自分もあの舞台で風を感じたい」と一念発起し、競技を始め、貪欲に練習を積んだ。2015年10月、ドーハでの「IPC陸上競技世界選手権大会」において、400m(T52クラス)では金メダル、1500mでは銅メダルと2つのメダルを獲得。

【マルセン文化賞】

● 小倉 綾乃 【音楽 ハーモニカ】

- 平成27年6月、国内最高峰の大会とされるFIHハーモニカコンテストに17歳で初出場し、見事優勝を果たした。FIHハーモニカコンテストは世界ハーモニカ連盟日本支部主催のコンテスト。ブルース部門にテープ審査で全国から選ばれた11人が出場した。

● 玉置 里美 【美術 日本画】

- 平成27年「改組 新第2回日展」の第1科日本画において、初の特選を受賞した。受賞作「潮だまり」は、瀬戸内市牛窓町で見つけた潮だまりに集まるカニ、貝などの生物と岩の表情をふんだんな色彩で描き、海の豊かさを表現。「安定した画面構成と細かい仕事量で地道に描き込んだ作品」と高く評価された。

● 寺坂 昌三 【美術 書道】

- 平成27年度「改組 新第2回日展」第5科書において、初の特選に輝いた。受賞作「鐘の音」は島木赤彦の短歌2首を題材にした横額のかな書。歌の情感を伝える柔らかな線の流れと豊かな墨色が「現代という時代を感じさせるさわやかで響き高い作品」と評価された。大学その他での後進の指導を行い、今後の活躍が期待される。



贈呈式

と き：平成28年11月4日(金) 午前11時より

と ころ：ホテルグランヴィア岡山「フェニックス」

式次第：1 開 式

2 あいさつ

3 来賓祝辞

4 表彰状及び副賞贈呈

5 受賞者代表あいさつ

6 助成金贈呈

7 助成団体代表あいさつ

8 閉 式



受賞者からのひとこと

マルセン文化大賞

美術 書道・高木 聖雨



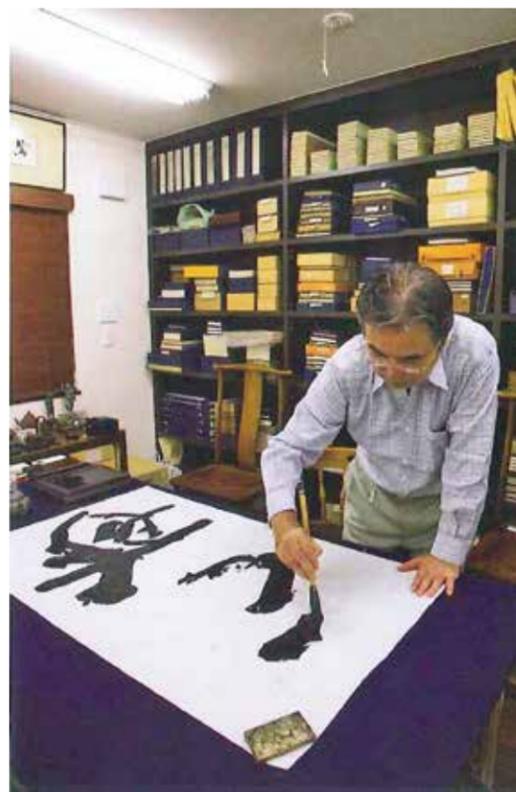
岡山 の文化 発展へ

この度、第13回マルセン文化大賞の栄を賜り、携わって頂いた多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。私が書の道を志してから50年の歳月が経とうとしておりますが、この度の栄は格別の喜びであり、今後益々の精進を厳命させるものだと感じております。

私は岡山を離れ東京を活動の場として参りました。東京では文化勲章受章者であられる青山杉雨先生から書を学ばせていただき、師を亡くしてから多くの先生や諸先輩、仲間たちから様々なことを学んで参りました。師青山先生からは、作品制作や古典鑑賞、研究に対する姿勢など、書におけるあらゆるものを学ばせていただき、今も変わらずそれらを胸に作品制作を続けております。

書という芸術は、古典を尊重し、古典の技法や表現、理論の上に成り立つ芸術です。古典の規律から逸脱すれば、観るに堪えない低俗な作品にならざるを得ません。書の世界ではすべてが古典に回帰していきます。古典に立脚しつつ、現代性を如何に表現できるか、それが今の書に求められることであり私自身の課題でもあります。書という芸術はそういった意味でも非常に奥が深く、なかなか思い通りにいかず、理想に辿り着くことはできないのですが、絶え間ない努力こそが理想に近づく最善の方法であることは言うまでもありません。この度の受賞は、改めてそれを確認させていただける大変素晴らしい機会となりました。

古来より書は人なりと言われるように、作品には書いた人のありのままの姿が映し出されます。岡山で培った経験や学んだことはすべて私の人格に結びつき、私の書にあらわれているのだと思います。どこにしようとも故郷のことを忘れず、感謝の気持ちを持ち続けることが大事です。今後とも岡山の文化発展のために、微力ではありますが頑張っていきたいと考えております。



マルセン文化特別賞

美術 陶芸・島村 光



マルセン文化特別賞 受賞に寄せて

この度は「マルセン文化特別賞」をいただき、ありがとうございます。備前焼のもう一つの分野である細工物はろくろ物の影で長らく低迷しておりましたが

このところ若い人たちも本気で手掛けてくれるようになりました。そんな折、このような励ましとなる賞は私のみならず彼らにとりまして大いに励みとなるものと思っております。

今後はこの賞に恥じないよう、また備前細工物に誇りを持って切磋琢磨して細工物の未来を切り開いて行ければと思っております。

今後共、よろしくご指導お願い申し上げます。
ありがとうございました。



マルセン文化特別賞 美術 日本画・森山 知己



「日本画」ってなあに？

日本の文化について、あらためて意識するときとは一体どんな時でしょう。外国への旅行や留学先で、また外国人の方々と交流する時、テレビなどでオリンピックや国際大会を見た時、語学を学ぶ時かも知れません。普通に暮らしていると自分が生活するこの国の文化についてあえて意識することは少ないのでは無いでしょうか。

絵を描いたり何かを作ったりすることが好きだった私は、大学を選ぶ時にこの日本という国の名前のついた絵画である「日本画」と出合いました。そして実際に描くようになって感じたのは、私自身がこの国の文化について何も知らないという事実でした。絵を描くことを通してこの国独自の文化を知りたい、そしてそれを自分でも描けるようになればと、それからは古から使われてきた素材や伝統的な絵画技法を手がかりに実際に描いて探してきました。ワクワク、そしてドキドキするようなご縁と出会い、新たに知ることの喜び、描けるようになる嬉しさ。探す作業は今も続いています。

「日本画」という言葉には、その成り立ちからその折々にこの国の文化についてもう一度立ち止まって考えさせるそんな仕組みがあるように思います。日本画を学ぶとは、国際化する社会において、この国の良いと思われる伝統や文化、他にない自分たちの競争力となる存在を客観的に捉え、またそこから新たな何かを生み出そうと、絵を描くことを通じて試みることにこのところ考えるようになりました。それらはこの岡山についてや、より小さな暮らす地域について考えることにも繋がっています。

受賞させていただいた「特別賞」。これまでの制作、またワークショップ等普及活動、岡山空港「昔話桃太郎」ステンドグラス原画制作などを評価いただいてとのこと、感謝するばかりです。ありがとうございました。



マルセンスポーツ賞 柔道・梅木 真美



リオデジヤネイロ オリンピックを終えて

この度は、マルセンスポーツ賞という荣誉ある賞をいただくことができ、大変光栄に思います。

私は4年前、「大学4年時にオリンピック金メダリストになる」という目標を胸に環太平洋大学に入学しました。

3年時で世界選手権に初出場し、優勝をすることができました。初めて味わう世界一は、言葉では言い表すことができないほど感動しました。努力してきたことが結果に繋がったこと、応援して下さった方々に恩返しできたということが何より嬉しかったです。

オリンピックイヤーである4年時、夢であり目標としていたオリンピックの舞台に立つことができました。「金メダル」を獲ることを目標とし挑みましたが、初戦敗退という結果に終わってしまいました。憧れの舞台で全ての力を出し切れなかったこと、応援して下さった方々の期待に応えられなかったこと、そんな情けない自分に腹が立ち、「もう一度だけオリンピックをやり直すことができたなら…」と何度も思い、後悔しました。目標としていた舞台であっただけにショックは大きく、なかなか気持ちを切り替えることができませんでした。ですが、少しずつでも前を向いていこうと思えたのは、やはり周りの方々のおかげです。「柔道着を着たくない」そんなことを思っていた私に「練習するぞ」そう言って柔道と向き合わせてくれた監督の存在は大きかったです。

オリンピックでは、自分の持っている力を出し切ることの難しさや、勝負の厳しさなど身をもって経験することができました。今回の経験が決して無駄にならないように、今後世界で戦っていく中で必ず活かしていこうと思います。

4年後の東京オリンピックでは金メダルを獲れるよう「初心」と「感謝の気持ち」を忘れず精進し、応援して下さいる方々に恩返ししたいと思います。



マルセンススポーツ賞

体操競技・神本 将 (主将)


 振り返って
 第70回国民体育大会
 (2015紀の国わかやま国体)を

昨年度の第70回国民体育大会を振り返ると、先輩や先生と全国大会「優勝」を目標に一生懸命に練習したことを思い出します。

全国大会優勝に向けて、チームには「何が必要で、何を強化する」のか考え、またお互いに話し合いや練習の指摘をしあったりしていました。特に私達のチームで必要なのは「あん馬・跳馬・鉄棒」でミスをしないことだと考え、その3種目を重点的に練習しました。そして、日頃の練習では常に試合を想定した練習を意識して、失敗をしないように心に言い聞かせるとともに、もし失敗しても残りの演技を最大限ベストを尽くすように、練習し完璧な準備をするつもりで本番まで練習しました。

いざ、国民体育大会の予選では、試合も久しぶりにあったことや新しく取り入れた技でのミスが出てしまい、3位通過となりました。しかしながら、予選終了後からチームで今日の反省と決勝への対策を話し合い、決勝では失敗しない演技を意識して臨むことに決めました。その理由は、全国高校総体では細かいミスが積み重なり、惜しくも優勝を逃してしまった苦い経験があったからです。

決勝当日は、キャプテンの柚木主将が緊張していた私にいつも通り優しい声をかけてくれたので、落ち着いて入場できたのを今でもよく覚えています。試合中も1種目ずつ練習した演技が5人とも「バッチリ」だったので、最終種目のあん馬の演技まで「あっという間」に演技が終わり、とても時間が早く感じました。最後のあん馬も自分自身があん馬の演技を落とさずに通しができ、主将の柚木さんへバトンを渡すことができました。柚木さんも会心の演技でした。演技が、終了し千葉の得点と岡山の得点待ちでした。電光掲示板に千葉県と岡山県の得点が表示され「優勝」したことがわかり、とても嬉しく、本当に感動する日になりました。

それから、現在では私は高校3年生となり後輩達を引っ張る立場となりました。来年からは、筑波大学に進学することも決まった時に、マルセンススポーツ賞に選ばれたと知り、とても嬉しかったです。今回の結果や受賞についてしっかりと自分自身の糧にし、2020年の東京オリンピックに出場し、金メダルを目指して頑張っていきたいです。



マルセンススポーツ賞

陸上競技・齋藤 愛美



感謝の一年

この度は、マルセンススポーツ賞という栄誉ある賞をいただき大変光栄に思います。

私は、昨年和歌山県で行われた国民体育大会の少年女子B 100mで優勝することができました。大会では終始緊張していましたが、予選、準決勝を通過し、私がこの大会で目標としていた決勝に進むことができました。体調もとてもよかったので、「ここまできたら優勝を狙おう」とわくわくした気持ちでレースに臨みました。そして決勝本番。ゴールラインを一番で通った瞬間は、状況がうまく把握できませんでしたが、表彰台に立ったときにやっと優勝したんだということを実感しました。さらに自己新記録も更新できて、本当に幸せな気分を味わうことができました。しかし、この優勝は決して私一人の力でできたものではありません。監督をはじめ、先輩方やチームメイト、そして家族の支えがあったからこそ得られたということを改めて痛感しました。それからは今まで以上に感謝の気持ちを忘れずに、日々の練習に励むようになりました。

そうして迎えた岡山インターハイでは、100・200、そして4×100mで優勝することができました。いつもの慣れた会場のはずが、地元開催ということでスタンドが応援の方々で埋め尽くされ、一気に緊張が走りました。レーンに立つと、会場からのものすごい声援に圧倒されたのを今でも覚えて

います。しかし、その声援が逆に「よしがんばろ」と私を奮い立たせてくれ、そのおかげで最大限の力を発揮することができました。

このように、今シーズンは周囲の支えによって好成績をあげることができ、それにより様々なことにもチャレンジさせていただきました。これからも多くの方々に支えられていることに感謝して、来シーズンも笑顔で表彰台に立つことができるよう、日々の練習を大切にしていきたいと思っています。



マルセンススポーツ賞

車いす陸上競技・佐藤 友祈



マルセンススポーツ賞受賞にあたって

このたびは、マルセンススポーツ賞という大変名誉ある賞を賜り、誠に有り難く光栄なものと存じます。

推薦していただきました皆様に厚くお礼申し上げます。そうそうたる面々の中、2015年の世界選手権ドーハ大会での400m金メダル・1500m銅メダル獲得を評価していただき、嬉しく思います。

表彰式を執り行っていただいた11月は、4年前にパラリンピックを見てから競技を始めた時期です。その当時は、パラリンピックの舞台に立つことだけを考えていました。

ロンドンパラリンピックのレースを偶然テレビで見、「自分もやってみたい、パラリンピックに出たい」と強く思い、いくつもの挫折と困難を乗り越え、様々なチャレンジを続けてきました。親元を離れて練習環境を変え、大きく道を切り開き、良き指導者にも恵まれました。振り返りますと本当に変化の多い激動の4年余りでした。

次はどんな4年間になるのか、自分でも想像できませんが、受賞に恥じぬよう、アスリートとしての自覚をしっかり持ち、これからの競技生活に邁進して参ります。

まずは、来年の世界選手権でパラリンピックの雪辱を果たすべく、トレーニングなど基礎から見直し、しっかりと積み上げて頑張っていきたいと思えます。

これからは皆様のご期待にお応えできますよう、パラスポーツ・車いす陸上競技を通じて、少しでも岡山県の発展に貢献できますよう、日々努力精進して参る覚悟でございます。

最後に、2016リオデジャネイロパラリンピックの400m・1500mの2種目で獲得した銀メダルをたくさんの方々の方に御覧いただけてとても嬉しかったです。

今後とも何卒格別なるご支援のほど、よろしくお祈り申し上げます。

関係各位の皆様方のご健康をお祈りいたします。



マルセン文化賞

音楽 ハーモニカ・小倉 綾乃



私とハーモニカ

この度は、このような栄えあるマルセン文化賞を受賞させていただき、本当にありがとうございました。

私は、昔から在るのも全てに憧れる、好奇心旺盛な娘でした。ハーモニカとの出会いは物心も付く前のことでしたが、きっとそれも好奇心からだったのだと思います。

現在、私は18歳になり、これまで過ごしてきた月日のほとんどがハーモニカと一緒に、それは大変濃いものでした。

幼い頃から演奏活動をし、今日まで続けてこれたのは、地元をはじめ、人との出会いという『ご縁』があったからだと思うのです。私のハーモニカを知っていただきましたことから、人から人へと伝わり、披露させていただける場が次第に増えていきました。私の演奏スタイルも、聴いてくださる方々の想いに寄り添って選曲することから、築けることができました。今回の受賞は、たくさんの方々を支えられてきた証だと、大変ありがたく思っています。

コンテストで、ある有名なプレイヤーが「楽器というのは、それを演奏する人の心が現れるのだ。」とおっしゃっていました。私はそれが『音色』の意味なのだと思っています。

最近では、歌や芝居などハーモニカ以外のエンターテイメントにも挑戦しています。これからは、様々な形で、多くの人にハーモニカの魅力をお伝えして盛り上げていくことが、私の夢でもあり、使命のように感じています。

いつの日か、岡山の誇りとなれるよう、より一層努力をし、私の音色を届けて参りたいと思います。どうかこれからも温かく見守っていただければ幸いです。

改めまして、この度の文化賞受賞、本当にありがとうございました。



マルセン文化賞

美術 日本画・玉置 里美



私の制作

「人に楽しんでもらえる絵を描きたい。」これは私が小学校の卒業アルバムに『ぼくの夢わたしの夢』という1ページに書いた言葉です。今から40年も前の夢でした。

絵は人を幸せにするためにあって欲しいと願っています。人の願望や希望を表現したり、見ることによって癒されたり、描く事で無心になり自分の内面を見つめる時間にもなります。

私は生き物を題材に選ぶことが多いのですが、今回の受賞のきっかけとなった作品もそうです。干潮時にできた潮だまりの側に腰をおろすと、あちこちから小さな音が聴こえてきます。無数の小さな生命が活動していて、その海の豊かさに感動して制作されたものです。

スケッチをする中で多くの発見があり、動物でも植物でも観察すればする程その造形の美しさや仕組みの素晴らしさに驚嘆させられます。私はそんな彼らの温もりや鼓動、命のうどめきを作品の中に表現できたらと願っています。

この度のマルセン文化賞の受賞は、私にとりまして大変励みになりました。誠に有難く光栄に存じます。これからも多くの皆様に楽しんでいただける作品を作り続けていけるよう、日々精進して参りたいと思います。

最後になりましたが、マルセンスポーツ・文化振興財団千原理事長を始め関係各位に心より感謝申し上げます。



マルセン文化賞

美術 書道・寺坂 昌三

「書」の魅力発信
日本文化としての

2016年は公益財団法人マルセンスポーツ文化振興財団文化賞をいただき、私にとって記念すべき年となりました。理事長の千原多美子様をはじめ、関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

さて、昨年、私はニュージーランドのオークランド大学で「かな書道」について講義及び実演をする機会に恵まれました。そこで出会った方々の日本文化への関心の高さは、私の予想をはるかに超えるものでした。学生は「源氏物語」「枕草子」を読み、一般聴講者は手本として「一期一会」「諸行無常」を求め、中学生・高校生は日本語で俳句を作って毛筆で書写していました。オークランド市内には日本人が経営する書道教室があり、日本文化をテーマにしたイベントの書道体験コーナーは大人気で1日に800枚もの半紙が必要だったそうです。これほどまでに日本文化、そして「書」に興味関心を持つ人たちがいるのです。

それに比べ、私たち日本人は日本文化を大切にしているでしょうか。深く反省させられました。私が「書」のエキスパートとして丁寧な扱いを受けたように、日本文化を発信できる日本人は海外で大歓迎を受けるでしょう。日本文化について学ぶことは、日本文化を守り育てるだけでなく、国際交流の架け橋となる大きな力を得ることであります。特に若い世代の人たちに、そうしたことを知っていただきたいと思います。

マルセン文化賞をいただいたからには、文化振興の責務があります。私は、書家としての自らの技量を磨くとともに、できる限りにおいて「書」の魅力を発信していきたいと決意を新たにしています。



ホットコーナー

岡山スポーツ、早くも全開!

2017年 年初3題



全日本高校バレーボール選手権で準優勝した就実チーム

2016年の岡山スポーツ界は、39年ぶりに岡山を主会場とした全国高校総体(中国インターハイ)、郷土からも多くの選手を送り込んだリオデジャネイロ五輪、サッカーJ1昇格にあと一步に迫ったファジアーノ岡山など、話題てんこ盛りだった。仕上げは12月25日の全国高校駅伝。男子の倉敷高校が全国最多となる39年連続の出場にして初優勝を遂げ、見る人の感涙を誘った。見事と言うほかはない有終の美であった。

さて、年が明けて2017年。にぎわいのあとは静寂が訪れるのが世の常だが、岡山スポーツ界は違った。いきなりパワー全開。“チーム岡山”の昨年に続く躍進を予感させる活躍が続いた。年初を飾った3つの話題に触れてみたい。



金蘭会戦でアタックを放つ小川愛里奈選手(左から2人目)

◇
前年を締めくくったのが駅伝の倉敷高校なら、2017年の前途を明るく照らしたのも高校生だった。バレーボール女子の就実高校。1月4日に東京で幕を開けた全日本高校バレーボール選手権で準優勝に輝いた。

就実と言えばバレーボールの名門として名高いが、意外なことに、全国大会で決勝に進んだのはインターハイや国体を含め1995年以来だった。そのときにアタッカーとして活躍したのが西畑美希監督。ハードな練習と温かなハートで後輩たちに“就実魂”を注ぎ込んだ。

もともと選手たちは就実中学時代に全国3位に入った有望世代。西畑監督の指導を若木のごとく吸い上げ、一層力をたくわえた。夏のインターハイと秋の国体で4強入り。この大会には日本一を明確に目標に描いて臨んでいた。1回戦でインターハイ8強の京都橘を下すと、2、3回戦に続き八王子実践(東京)との準々決勝もストレート勝ち。そして大会随一とあっていい好勝負を繰り広げたのが金蘭会(大阪)との準決勝だ。

相手はスーパー高校生・宮部藍梨選手をはじめとするタレント軍団。就実は叩きつけられるボールを身を投げ出しは拾い、ブロックに当てては拾い、耐えた。攻撃では小川愛里奈選手らピリリと辛い面々が強打軟打で対抗。セットカウント1-2と追い込まれてから第4、5セットを連取し、逆転でフルセットの熱戦を制したのだった。1月8日、下北沢成徳(東京)との決勝こそストレートで敗れたが、正月のおめでた気分に入る岡山人を、さらにほかほかにしてくれた。

◇
雪中の激闘として後年語られるであろうレースはその1週間後、京都・都大路で行われた。全国都道府県対抗女子駅伝で岡山チームがトップと2秒差の2位という劇的なすきりレーをやったのけた。大会関係者の予想では、優勝を争うAランクに3チーム、それに続くBランクに3チームが挙げられ、岡山は入賞(8位以内)に絡むかどうかのCランクに位置付けられていた。ところがどっこい、優勝1度を含む10度の入賞歴を誇る“駅伝王国”は前評判の上を行った。1区20位スタートの後、山本晏佳吏選手(琴浦中学)ら4人が区間1桁順位をマーク。1位京都と28秒差の8位でたすきを受けたアンカー小原怜選手(天満屋)は脱兎のごとく前を追い、区間賞の走りで京都に迫ったのだった。

その10カ月前、名古屋ウィメンズマラソンでも1秒差で日本人トップに及ばず、リオ五輪代表の座を逃した小原選手。同じ展開に悔しさを口にしたが「中学生、高校生にメダルをかけてあげられてよかった」とのコメントは実にさわやかだった。

◇
続いて岡山のスポーツファンを喜ばせたのは、1月29日に大阪市で繰り広げられた大阪国際女子マラソン。2012年ロンドン五輪代表の重友梨佐選手



全国都道府県対抗女子駅伝で2位でフィニッシュする小原怜選手

大阪国際女子マラソンで優勝した重友梨佐選手

(天満屋)が、見事な復活ランで優勝を果たした。

ここ何回かのレースで後半の失速が目立った重友選手。この日は早くも13キロすぎで先頭集団から離れてしまった。ところが、ここからが本当に粘り強かった。5キロ17分前後のペースを刻み、上位選手を次々拾っていくと、35キロ付近でついに先頭に行く堀江美里選手(ノーリツ)をとらえた。並走を許さず一気に抜き去り、そのままビクトリーロードをひた走った。

ロンドン五輪は79位と惨敗した。2015年の大阪国際で3位に入り北京世界陸上に出場した以外、はばかしい成績を残せず、浮沈の大きい競技生活を送ってきた。故障にも苦しみ「やめなきゃいけないのかな」とまで思いつめた時期もあったという。この日の走りを取り戻すまでのさまざまな葛藤がゴール後、涙となって噴き出したのだろう。

この優勝で出場が決定的になった世界陸上(8月)の舞台は、あのロンドン。きっと目の覚めるような快走で五輪のもやもやを吹切けるに違いない。

(本文、写真ともに山陽新聞社提供)



全国都道府県対抗女子駅伝で準優勝した岡山県チーム

新年に分け入る“日本画の森”・50回迎えた院展岡山会場

革新に挑む同人の大作と向き合い、語り合う



今年も岡山会場は大勢の院展ファンでにぎわった

自然の神秘、小動物の命のきらめき、人間の祈り、営み…。丁寧に描き込まれた大作1点1点の前で足がとまる。初詣帰りの家族や福袋を手にした女性らが、ゆっくりと吸い込まれるように“日本画の森”へと分け入っていく。新春の岡山を飾る院展(日本美術院展覧会)岡山会場が今年50回の節目を迎えた。その歩みを振り返る。

安田鞞彦、前田青邨、奥村土牛、小倉遊亀、塩出英雄、片岡球子、平山郁夫、松尾敏男。いまは亡き日本画壇の巨匠たちの作品が集結した第1回は、1963(昭和38)年1月11日から23日まで、天満屋岡山店(岡山市北区表町)で開かれた。スケッチ旅行に訪れたことが縁で岡山を気に入り、岡山開催に尽力した土牛氏は2日目に会場を訪れ、「東京、大阪をはじめ、二、三の地方で院展が開催されたが、岡山会場が一番りっぱだ」と言葉を残している。

日本美術院(東京・谷中)は1898(明治31)年、

東京美術学校(現・東京芸術大)の校長職を辞した岡倉天心の指導のもと、橋本雅邦、横山大観、菱田春草らによって創設された研究団体。日本文化の伝統を踏まえつつ新しい時代の新しい美術を樹立するという天心の理想は、天心没後も大観らの手で再興され、いまに引き継がれている。

岡山と院展のゆかりは、美術院の草創期にさかのぼる。創設から9年間で27回を数えた地方巡回展が、岡山では2回開かれた。1901年と06年、会場は後楽園。01年には、開催を控えて大観、雅邦が来岡し、7日間の会期中に3000人を超える入場者があったと山陽新報(山陽新聞の前身)は伝える。

それから約60年のち、岡山に誘致されたのが第47回再興院展。大観や小林古径の遺作を含む約60点が並び、初日から女子学生200人の団体が訪れるなど、連日、熱心な鑑賞者が詰めかけた。当時の院展は、東京、大阪、名古屋が中心で、中国地方



1990年院展に出品された平山郁夫氏の「吉備路緑映」

では初めての開催。その後、65年、68年、70年と続き、地方会場ではいち早く72年から毎年開催が実現した。

古い山陽新聞を繰ると、会場写真が時代を映している。60年代に目立つのは制服姿の学生たち。70年代になるとあでやかな和装の女性たち、80年代には一世を風びした「聖子ちゃんカット」の髪型をした若い女性の姿もある。70年代に登場するお茶席は、いまでは岡山会場になくはならない魅力として定着している。

同人作家が作品に描き上げた“岡山”の数々も思い出深い。平山郁夫氏は吉備路を歩き、90年、備中国分寺五重塔を中心に吉備路の風景を長大な屏風「吉備路緑映」を制作した。宮廻正明氏は2002年、岡山市の西大寺会陽を取材し、裸の渦が熱を発する「水雲花」(03年制作)を、西田俊英氏は吉備路のタンチョウを端正に描いた「吉備の鶴・鳴き合い」「誕生」(06年)を出品。詩情豊かな鉄道風景で知られる小田野尚之氏は、新見市のJR姫新線岩

山駅をモチーフにした「暮れゆく」(14年)に続き、今年もJR岡山駅に隣接する車両基地の雪景色を切り取った「雪の朝」を発表した。

1995年開学の倉敷芸術科学大学に下田義寛氏とともに招かれて教壇に立った井手康人氏(瀬戸内市=2010年マルセン文化大賞受賞)は14年秋、岡山ゆかりでは井原市出身の彫刻家・平櫛田中以来100年ぶり、県在住者では初の同人に推挙され、ファンを喜ばせた。

「院展へお目当ての絵に会いに行く」。元日の山陽新聞に掲載された読者の新春せんりゅうである。今年も2日から15日までの会期中、2万人を超える入場者でにぎわった。これは、院展会場の中でも東京、名古屋に次ぐ規模を誇る。1人1人が、日本画の革新に挑み続ける画家渾身の作と向き合い、語り合い、そして新しい年のスタートを切る。岡山の人々に愛され、育てられた文化をこれからも大切にしていけたらと思う。

(本文、写真ともに山陽新聞社提供)



第1回の岡山会場を訪れた奥村土牛氏=1963年



成人式帰りの振袖姿の女性たちで華やいだ=1975年



「聖子ちゃんカット」の若い女性が目立つ=1983年



宮廻正明氏の「水雲火」=2004年



岡山会場で作品の前に立つ松尾敏男氏=2012年



ファンに囲まれて作品を解説する井手康人氏=2015年

第3章 イベントの開催(主催・共催)

1 スポーツ

● マルセンソフトテニス教室

- 日時 平成28年6月18日(土)・26日(日)
各9時～16時30分
- 会場 岡山県総合グラウンド内 南テニスコート
- 主管 岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部
- 後援 岡山県ソフトテニス連盟
- 参加者 18日：4校33名 26日：5校35名 合計5校68名
- 講師 大庭彩加選手(山陽新聞社倉敷支社所属)
杉本瞳選手(マルセン財団職員)
ゲスト講師 深澤昭恵選手・



森原可奈選手(東芝姫路所属)2016ナショナルチームメンバー

- ①アップ ②基本練習 ③応用練習 ④ゲーム形式

2 文化

● (公社)岡山県文化連盟・文化講演会 「文化のつどい」(名義共催)

- 平成28年12月2日(金) 天神山文化プラザホール
「青木研岡山でスウィングする」4弦バンジューの世界
Sing Sing Sing スウィングしなけりゃ意味がない
《1部》藤原和美&ブラックスネイクス(藤原和美vo、遠藤仁tsax、
山本俊マンドリン、藤原浩史テナーギター、皆木秀樹b)
《2部》青木バンジュー、藤井政美tsax、遠藤仁tsax、皆木秀樹b



● マルセン文化教室「井手康人(同人)の日本画教室」

- 社会人対象 24名参加
- 日時 平成28年6月3日(金) 10時～15時
- 作品展示 倉敷市立美術館(第71回「春の院」倉敷展会場)
平成28年6月29日～7月10日
- 高校生対象 25名参加 10時～15時
- 日時 平成28年12月23日(祝金)
- 作品展示 天満屋岡山店6階葦川会館(第101回院展 50回記念会場)
平成29年1月2日～15日
- 会場 岡山県生涯学習センター
- 後援 岡山県教員委員会、日本美術院「地域連携教育プログラム」



(高校生対象)



(社会人対象)

第4章 広報啓発育成事業

競技スポーツ及び芸術性の高い音楽・演劇等の観賞の機会の提供を通じてスポーツ・文化の振興発展に寄与する。

1 啓発育成事業

ア チケットプレゼント

① スポーツ関係

- 山陽新聞レディースカップ(寄付)

期 日：平成28年9月16日(金)～18日(日) 会 場：東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ(玉野市)
招待者：200組400名(応募：210組 410名)

② 文化関係

- 川島基ピアノリサイタル

期 日：平成28年5月1日(日) 会 場：ルネスホール
招待者：20組40名(応募：79組 157名)

- 第71回春の院展倉敷展

期 日：平成28年6月29日(水)～7月10日(日) 会 場：倉敷市立美術館
招待者：30名(応募：120名)

- マイ・ハート in さん太

期 日：平成28年8月24日(水) 会 場：山陽新聞社さん太ホール
招待者：100名(応募：203名)

- 種まく旅人～夢のつぎ木～(ロケ地 赤磐市他)

期 間：平成28年10月22日(土)先行公開 会 場：県下6映画館
招待者：100組 200名(応募：381組 761名)

- 再興第101回院展岡山会場50回記念展

期 間：平成29年1月2日(月)～15日(日) 会 場：天満屋岡山店葦川会館
招待者：100名(応募：334名)

- 第31回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトゥオーゾVol2 室内楽コンサート

期 間：平成29年3月18日(土) 会 場：倉敷市芸文館
招待者：30名(応募：143名)

イ ホームページを通じての広報

ウ 機関誌「マルセン」13号の発刊

エ 活動助成団体によるラジオ番組出演(活動状況報告)

- RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2016」

「あもーれ! マッターリノ」の中(13:00～16:30)で10程度放送((株)成通提供)
パーソナリティ：メイン奥富良子アナウンサーと川又智菜美(月)・広瀬麗奈(火)
期 間：平成28年11月14日(月)～12月27日(火)中の毎週月・火曜日
出演団体：スポーツ関係9団体 文化関係12団体



第4章 広報啓発育成事業

2 協賛・後援事業

ア スポーツ関係

- おokayamasスポーツフェスティバル(名義後援)**
 主催：岡山県体育協会
 期日：平成28年11月23日(祝水) 会場：岡山県総合グラウンド、児島マリンプール
 参加者：12,000人
- 第2回岡山県武道フェスタ(協賛)**
 主催：岡山県武道団体連合会
 期日：平成28年12月4日(日) 会場：岡山武道館及びその周辺
 参加者数：12団体(3,000人)
- 第35回山陽女子ロードレース大会(協賛)**
 主催：中国陸上競技協会、岡山県、岡山市、岡山市体育協会
 (公財)岡山体育協会、岡山市体育協会、(株)山陽新聞社
 主管：(一財)岡山陸上競技協会
 期日：平成28年12月23日(祝金)10時～15時
 会場：岡山市内 ハーフマラソンと10kmロードレース実施
 出場者数：327名
- 日中友好卓球交流会(協賛)**
 主催：瀬戸内日中友好卓球交流会
 期日：平成29年3月26日～4月1日 会場：ねや卓球道場(岡山市北区)、坂出体育館(香川県)
 参加者：112名(予定)



イ 文化関係

- 倉魂!「高校生コミック・イラストコンクール2016」(協賛)**
 主催：倉敷芸術科学大学
 期日：平成28年6月1日～平成29年3月31日
 会場：倉敷芸術科学大学(表彰式 倉敷市立美術館)
 表彰式：平成28年12月25日(日)
 応募数：30都道府県312点 応募校数104校
 入選53点(うち、受賞21点)、大賞1点、アナログ部門優秀賞1点、デジタル部門優秀賞1点
 学長賞1点、ファットウェア特別賞1点、アムス特別賞2点、佳作賞14点
- 榎木和敬・坂本清香ジョイントリサイタル(名義後援) ～トスティ歌曲とイタリアオペラの世界～**
 主催：イタリア音楽研究会 共催：NPO法人バンクオブアーツ岡山
 期日：平成28年10月5日(水) 会場：ルネスホール 観客数：288人
- 岡山県演奏家協会生誕50周年を祝して(協賛) ～岡山と共に50年そして宙へ～**
 主催：岡山県演奏家協会
 期日：平成28年10月10日(月) 15時～ 会場：岡山シンフォニーホール
 参加者数：1,150名
- 岡山の美術特別企画「梅一輪 島村光 金重有邦 隠崎隆一展」(協賛)**
 主催：岡山県立美術館
 期日：平成29年2月1日(水)～3月12日(日) 会場：岡山県立美術館 参加人数：3,693名



大賞作品
 題名「尊い命」
 奥 明香里
 (津山工業高校)



(II)財団の活動

法人管理

1 会議等

● 評議員会

- 臨時第1回評議員会 平成28年6月9日(木) 報告**
 ①平成28年度マルセンスポーツ・文化賞受賞者について
 ②平成28年度協賛・後援事業について
- 書面による定時評議員会 平成28年6月24日(金) 同意**
 ①平成27年度事業報告及び収支計算報告について
- 書面による臨時第2回評議員会 平成29年2月22日(水) 同意**
 ①監事候補者の選任について
- 臨時第3回評議員会 平成29年3月29日(水) 承認**
 ①平成29年度事業計画(案)について
 ②平成29年度予算(案)について
 ③評議員の選任について
 ④旅費規程の改正(案)について

● 理事会

- 書面による臨時第1回理事会 平成28年5月20日(金) 同意**
 ①臨時第1回評議員会の開催について
- 定時第1回理事会 平成28年6月9日(木) 承認**
 ①平成28年度事業報告及び収支計算報告について
 ②平成28年度マルセンスポーツ・文化賞受賞者及び平成28年度協賛・後援事業について
 ③書面による定時第1回評議員会の開催について
- 書面による臨時第2回理事会 平成29年2月15日(水) 同意**
 ①書面による臨時第2回評議員会の開催について
 ②書面による臨時第3回評議員会の開催について
- 書面による臨時第3回理事会 平成29年3月22日(水) 同意**
 ①名義後援・協賛事業について
- 定時第2回理事会 平成29年3月29日(水) 承認**
 ①平成29年度事業計画(案)について
 ②平成29年度収支予算(案)について
 ③平成29年度スポーツ・文化活動助成事業等(案)について
 ④選考委員の選任(委嘱)について
 ⑤表彰規程の一部改正(案)について
 ⑥旅費規程の改正(案)について

● **監査** 平成28年6月1日(木)及び2日(金)

● **選考委員会**

(1)第1回委員会 平成28年5月20日(金)

①第13回マルセン賞候補者(文化大賞1件、文化特別賞2件、スポーツ賞4件、文化賞3件選考)

(2)第2回委員会 平成28年6月9日(木)

①イタリア音楽研究会(名義後援) 同意

(3)第3回委員会 平成28年8月22日(月)

①岡山県体育協会(名義後援) 同意

(4)第4回委員会 平成28年9月28日(水)

①岡山県立美術館(協賛) 同意

(5)第5回委員会 平成29年3月1日(水)

①瀬戸内日中友好卓球交流会(協賛) 同意

②平成29年度活動助成事業及び協賛事業(スポーツ9件、文化11件選考、協賛2件同意)

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について

当財団では、スポーツ活動及び文化活動にかかる助成事業を毎年実施しております。

詳細(募集要項)については、「財団ホームページ」及び11月初旬、生涯学習施設に配付する「募集のお知らせ」にてご確認ください。

記

- 「助成事業申請書」の入手/財団ホームページから関係申請書をダウンロードしてください。
- 募集期間/毎年11月中旬から翌年1月20日(期日が土日曜日の場合は、翌月曜日)
- 助成額/10万円(限度額)
- 助成金交付決定の時期/3月下旬
- 審査基準
 - 活動の目的及び内容が当財団の助成目的に沿ったものであること。
 - 活動内容が具体的であるもの。
 - 活動の参加に制限がなく、誰でも参加できるものであること。
 - 概ね1年以上の活動実績があること。
 - 助成金の使途が適切であり、助成の緊要度が認められること。
 - 岡山県内で行われる活動であり、岡山県内に所在する団体・居住する個人が実施すること。
- 留意事項
 - 助成金は、自己又は構成員へ支出する報酬・旅費等及び組織の維持費には充当できません。
 - 反社会的勢力と関係のある団体に該当する場合は、対象となりません。
 - 営利を目的とする活動は、対象となりません。
 - その他、助成規程・助成事業実施基準をご確認ください。
- 申請書への添付書類(全て写しで可)
 - 組織の設置規程(規約等)
 - 昨年度の決算書、パンフレット、当該年度の事業計画(申請書に記載)
- その他

申請書記載内容については、記載例(申請書裏頁)を参照のうえ、作成してください。

平成30年度
スポーツ・文化 活動

助成事業申請書

受付日	
受付番号	

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団 殿

貴財団の助成を受けるため下記の通り申請いたします。なお、この書類に記載の氏名・住所等の個人情報について、選考委員会等への提供に加え財団役員会又は関係行政機関に開示することに同意します。また、助成決定の際は、受給者の名称(氏名)・活動内容等について広報誌等に公表される場合があることに同意すると共に、助成金の交付条件である①助成事業に採用された旨の公表、及び②当該活動終了後速やかに活動報告書を提出することのいずれかでも怠った場合、助成金交付の取消・返金を求められることに同意します。

団体名	(フリガナ) 〒	所在地 (市区町村のみ)	代表者名 又は 個人名	(フリガナ)	④	
連絡先	氏名もしくは、団体名		担当者	同上	*該当する場合は○をつけてください。	
	Tel/Fax 昼間に連絡が とれること	Tel () Fax ()	メールアドレス	()	@	
申請区分	大分類 () 小分類 ()	実施時期		実施場所		
活動名						
助成を受けての 事業計画 (600字以内)						
助成を受けた際の財団名公表の方法						
過去実績						
予定 事業 収支 計画	収入 の 部	項目	金額	項目	金額	内容
			円		円	
		助成希望金額 (限度額 10万円)				
		収入合計		支出合計		
		会員個人1人当たりの年間負担額		(※)	〇)財団助成金充当額合計	
	備考					
他の助成等を受けていますか?		はい・いいえ				
他の助成等の申請予定はありますか?		はい・いいえ				
過去に当財団の助成をうけましたか?		はい・いいえ		平成	年度	
どのような方法で当財団助成制度をお知りになりましたか。		1 テレビ 2 新聞 3 市町村 4 その他 ()				

(切り取り線)

DATA ● 資料

事業の記録

1 助成の記録

●第12回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
27.8.26	スポーツ	260.8	15件	7件	688,020円	合計 21件	2,067,650円
	文化		66件	15件	1,379,630円 (うち1件辞退)		

*文化のうち1件中止

●第11回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
26.8.7	スポーツ	120万円	21件	12件	1,119,000円	合計 26件	2,497,000円
	文化	130万円	57件	14件	1,378,000円		

●第10回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
25.10.24	スポーツ	100万円	18件	13件	1,300,000円	合計 30件	3,000,000円
	文化	100万円	57件	17件	1,700,000円		

●第9回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
24.8.27	スポーツ	100万円	24件	10件	970,000円	合計 25件	2,670,000円
	文化	100万円	56件	14件	1,400,000円		

美作国建国1300年記念事業実行委員会 30万円

●第8回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
23.7.12	スポーツ	100万円	25件	10件	986,000円	合計 21件	2,011,628円
	文化	100万円	46件	11件	1,025,628円		

●第7回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
22.7.5	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円	合計 22件	2,977,020円
	文化	100万円	43件	13件	1,260,000円		

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

●第6回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
21.7.27	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円	合計 25件	3,258,115円
	文化	100万円	42件	14件	1,299,000円		

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

●第5回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
20.7.29	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円	合計 21件	2,996,410円
	文化	100万円	45件	10件	1,000,000円		

県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円

●第4回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円	合計 21件	1,994,500円
	文化	100万円	53件	11件	1,030,000円		

●第3回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	合計	累計
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合計 20件	1,962,000円
	文化	100万円	27件	10件	992,000円		

記載例

平成30年度 **スポーツ・文化活動** 助成事業申請書

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団 殿

いずれかを、○で囲んでください。

郵便物の送付先
団体宛の住所の場合、その住所先団体名も記載してください。
個人宅の宛名の場合、そのお名前も記載してください。

シャチハタ不可

申請について質問させていただける方

平日昼間連絡できる電話番号・もしくはメールアドレスを記載してください。メールは、リンク解除をお願いします。

助成を受ける対象の活動名
事業内容や特徴が一目でわかる名称が望ましい。

助成を受けて、どのような活動を実施するのかを600字以内にまとめて、記載してください。詳細を記載する場合は、別紙をつけてください。

過去に助成を受けた団体等は、新たに工夫したことや前回より特に意欲的な点などを記入してください。

別紙 スポーツ・文化活動一覧から選んでください。(財団HP参照)

第20回 ○○町学童親善野球大会

助成を受けた際の財団名公表の方法
チラシ・ポスター・ホームページでの公表
大会当日のアナウンス。要項への記載等

※貴団体の設立時期、構成人数、活動内容等(1年以上の活動実績がなければ申請できません)
(財団HP「助成事業実施基準」参照)

10万円以下の希望額を記入してください。
※助成額は、申請された内容、規模等を審査して決定しますので、申請金額と異なる場合があります。

収支は一括計上せず、内訳を明記してください。
記入しきれないときは、別紙をつけて説明してください。

同じ金額になるよう記載してください。

「はい」の場合は、その助成申請先等の名称

「いいえ」の場合で、過去に申請したが、不採用の年度

項目	金額	項目	金額	内容
助成希望金額 (限度額10万円)	100,000	会場費	※ 60,000円	○○グラウンド 8時~17時
参加料(③5千円×17人)	85,000	ボール代	21,600	@5,400円×4ケース
主催者負担額	40,000	審判謝金	45,000	@2,500円 18試合
		トロフィー代	※ 10,000	優勝チーム・準優勝チーム
		優勝記念品	5,400	優勝チーム
		弁当代	7,150	@550円×13個 (審判他)
		参加賞	※ 60,000	@200円×300個
		消耗品	4,500	ライン用石灰他
		大会冊子作成	8,070	コピー用紙・プリンターインク代等
		郵送料	3,280	案内郵送料 40件×82円
収入合計	225,000	支出合計	225,000	
会員個人1人当たりの年間負担額	10,000	(※ 130,000)財団助成金充当額合計		

備考

他の助成等を受けていますか? はい・いいえ

他の助成等の申請予定はありますか? はい・いいえ

過去に当財団の助成をうけましたか? はい・いいえ 平成 年度

どのような方法で当財団助成制度をお知りになりましたか。 1 テレビ 2 新聞 3 市町村 4 その他()

- ・当財団の助成金を充当する項目に ※ を記入してください。
- ・備品等を財団の助成金で購入希望の場合、購入予定価格のわかる書類を添付してください。(見積り・カタログ等のコピー等)
- ・申請の内容が通年(1年間)に係る事業の場合は、年間予算額を、特定の期間の事業の場合にはその事業に係る予算額を記入してください。
- ・収支計画の元となった、昨年収支実績もしくは事業収支を添付してください。
- ・「別紙のとおり」等省略せず、ご記入ください。(書ききれない場合のみ別紙へ記入し、添付)

事業の記録

●第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円
	文化	100万円	24件	10件	1,000,000円

晴れの国おかやま国体 100万円
合計 21件 2,988,640円
累計 41件 5,841,640円

●第1回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円
	文化	100万円	15件	9件	853,000円

晴れの国おかやま国体 100万円
合計 20件 2,853,000円

2 表彰の記録

●第12回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
27.8.26	スポーツ	賞	荒島 夕理 井上 全悠 原田 裕成 日本 雄也 丸本 大翔	陸上競技 卓球競技 自転車競技 水泳競技 ウエイトリフティング競技
	文化	大賞	隠崎 隆一	美術 陶芸
		賞	粟利郷太刀踊保存会 小野 耕石 河本 昭政 藤本 理恵子 森上 光月 守屋 剛志	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 版画 美術 洋画 美術 日本画 美術 書道 音楽 ヴァイオリン

●第11回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
26.8.7	スポーツ	賞	小川 晃平 IPU環太平洋大学女子柔道部 吉備国際大学女子サッカー部 佐々木 美行 野上 竜太	体操競技 新体操 柔道競技 サッカー競技 スケート競技フィギュアの指導 自転車競技
	文化	特別賞	佐々木 英代	音楽 声楽
		賞	小出 公大 須本 雅子 藤原 洋次郎 横仙歌舞伎保存会	郷土史 美術 染織 美術 現代アート 無形民俗文化財 伝統芸能

●第10回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
25.10.24	スポーツ	大賞	荒木 絵里香 福元 美穂 宮間 あや 清水 聡 山口 舞	バレーボール競技 サッカー競技 サッカー競技 ボクシング競技 バレーボール競技
	文化	大賞	水戸岡 鋭治	美術デザイン
		特別賞	佐藤 常子	美術 染織
		賞	上田 久利 岡山パッパカンタータ協会 草間 喆雄 鴻八幡宮祭りばやし保存会 難波 由城雄	美術 彫刻 音楽 合唱 美術テキスタイル 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 写真

●第9回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
24.8.27	スポーツ	特別賞	福元 美穂 宮間 あや	サッカー競技 サッカー競技
		賞	奥村 諭志 勝又 雅弘 田中 太郎	自転車競技 陸上競技の振興 ウエイトリフティング競技
	文化	特別賞	小谷 眞三 森川 星葉	美術 工芸 美術 書道
		賞	池上 わかな 作元 朋子 梶木 和敬 桃太郎少年合唱団	美術 洋画 美術 陶芸 音楽 声楽 音楽 合唱

●第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
23.7.21	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	小野 陽平 川口 敬二 興譲館高等学校陸上競技部 永木 伸児 中野 真奈美 藤田 健児	テニス競技 自転車競技の指導 陸上競技 空手道競技 サッカー競技 ボクシング競技
	文化	大賞	重松 清	文芸 小説
		賞	澤田 虚遊 宮内踊保存会	美術 書道 無形民俗文化財 伝統芸能
		特別賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技

●第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
22.7.5	スポーツ	栄誉大賞	高橋 大輔	スケート競技 フィギュア
		大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカンтриー
		賞	井上 正 県立玉野光南高等学校陸上競技部 皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝 岡山県チーム	新体操競技の指導 陸上競技 陸上競技
	文化	大賞	井手 康人	美術 日本画
		賞	高田神社横野獅子舞保存会 諸星 美喜	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画

●第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部 木村 禎宏 山陽女子高等学校 体操部 平林金属男子ソフトボールクラブ	ゴルフ競技 車いすテニス競技 体操競技 ソフトボール競技
	文化	大賞	高原 洋一	美術 洋画 版画
		賞	大島の傘踊り保存会 片山 康之	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

●第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	県立新見高等学校ソフトボール部 県立新見高等学校軟式野球部 福元 美穂 宮間 あや	ソフトボール競技 軟式野球競技 サッカー競技 GK サッカー競技 MF
	文化	大賞	該当者なし	
		賞	井手 康人 小川 尊一 神代郷土民謡保存会 津山市立北陵中学校吹奏楽部 明誠学院高等学校書道部	美術 日本画 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 吹奏楽 美術 書道

事業の記録

●第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫 岡山県作陽高等学校サッカー部	ハンドボール競技の指導 サッカー競技
			岡山湯郷Belle 長田 京大 牧野 吉伸	サッカー競技 新体操競技の指導 ウエイトリフティング競技の指導
	文化	大賞	山口 松太	工芸 漆芸
		賞	多胡 昭彦 田丸 稔	天文学 美術 彫刻
			宮尾 昌宏	工芸 陶芸

●第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別	
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア	
		賞	楳村 正明 古川 興幸	ソフトテニス競技の指導 レスリング競技の指導	
			森政 芳寿	陸上競技の指導	
	文化	大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学	
		賞	川島 基 難波 滋	音楽 ピアノ 美術 洋画	
			福石神楽団	無形民俗文化財 伝統芸能	
	特別賞			岡山県剣道連盟	剣道競技
				岡山県山岳連盟	山岳競技
				岡山シーガルス 関西高等学校ボート部	バレーボール競技 ボート競技

●第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
17.8.3	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹 諸見里 しのぶ	ベンチプレス競技 ゴルフ競技
			横山 純子	陸上競技の指導
	文化	大賞	小川 洋子	文芸 小説
		賞	石田 宗之 はやし田植え保存会	美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能
			濱坂 渉	美術 彫刻

●第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技の指導
		賞	土井 美智江 藤原 佳市	水泳競技(マスターズ) 体操競技の指導
			柳井 清志	ソフトボール競技の指導
	文化	大賞	高橋 秀	現代美術
		賞	粟井春日歌舞伎保存会 岡山フィルハーモニック管弦楽団	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 管弦楽
			松本 和将	音楽 ピアノ

3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
27	スポーツ	高体連ソフトテニス専門部強化事業に職員派遣 マルゼン子どもスケート教室 共催 倉敷市スケート協会フィギュア部 後援 県教育委員会、倉敷市教育委員会、岡山県スケート連盟 ゲストスケーター無良崇人選手(日本スケート特別強化選手(洋菓子のヒロタ所属)) (ヘルスピア倉敷アイスアリーナ)	27.8.10~11	—	—	—
		プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対金沢武士団」 (ジップアリーナ岡山(岡山県立体育館))	27.8.17~18	—	17日 49名 18日 39名	—
		チケットプレゼント	28.3.19	—	—	37.8万円
		チケットプレゼント	27.9.19~20	40	40	—
		山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズGC) 第34回山陽女子ロードレース大会(協賛) (岡山市内)	27.12.23	530	200組 400名	現物寄贈
		岡山県文化連盟・文化講演会(文化のつどい)(名義共催) 「アート、文学、おかもやまー私を育んだ岡山の文化」 講師 原田マハ(作家)	27.9.17	—	—	—
	文化	チケットプレゼント フェルメール光の王国展(岡山市シテミュージアム)	27.4.14~5.6	307	40組 80名	—
		倉魂!高校生コミック・イラストコンクール 2015(協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷市倉敷公民館 1F 展示室)	募集 27.6.1~27.8.31 展示 27.12.2~6	416点 (168校)	入選52点 うち20点受賞 (大賞等)	10万円
		岡山カルチャーゾーン30周年記念事業(協賛) 「岡山カルチャーゾーンの魅力」 (岡山県立博物館及び後楽園を中心としたカルチャーゾーン一帯)	27.7.16~9.13	—	入館者数 6,779名	10万円
		岡山県文化連盟設立10周年記念×天神山文化プラザ開館10周年記念(協賛) 「オペラファンタジー“ヘルゼンとグレーテル”」 (岡山県天神山文化プラザホール)	27.10.31 27.11.1	—	参加者 1回 236名 2回 240名	—
		チケットプレゼント 再興第100回院展岡山展(天満屋岡山店 6階葦川会館)	28.1.2~1.17	458	100組 200名	現物寄贈
		チケットプレゼント 倉敷のヴィルトゥオーソ ピアノクインテット(倉敷市芸文館)	28.3.12	126	50組 100名	18万円
共通	RSKラジオ「おかもやま元気応援団! 2015」(編成通提供) 助成団体活動状況報告 21団体	27.9.28~12.14	—	—	—	
26	スポーツ	第10回岡山中央スポーツ少年団ソフトボール交歓大会(協賛)	26.4.13	—	—	1万円
		第30回全国選抜フットサル大会(協賛) (きびアリーナ)	26.9.13~15	—	—	10万円
		マルゼンバスケットボール教室(共催) 主管 県中学生バスケット連盟 (倉敷市立東中学校体育館)	26.9.15	—	42	24万円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズGC)	26.9.20~21	278	190	現物寄贈
		プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対大阪エヴェッサ」 (備前市総合運動公園体育館)	26.11.2	—	—	37.8万円
		チケットプレゼント(同)	26.11.16	11	8	現物寄贈
	文化	第10回沙美アートフェスト(協賛) (倉敷市沙美海岸 倉敷市立美術館)	26.5.10	—	—	10万円
		チケットプレゼント 親子で学ぶてんまや水族館 「オーストラリアの海とグレートバリアリーフの世界」 (天満屋岡山店 6階葦川会館)	26.8.6~25	188	50組 100名	—
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(共催) 講演「音楽と私」講師 川島基氏(東京音楽大学ピアノ科専任講師) 聞き手 西田多江(フリーアナウンサー) (ルネスホール)	26.8.7	—	—	15万円
		マルゼン親子写真教室(主催) 講師 難波由城雄氏(第10回マルゼン文化賞受賞者) (龍の森グリーンチャペルの森)	26.9.27	10組	10組 22名	8.8万円
		池田綱政公300年遠譚記念事業(協賛) 特別展 護国山曹源寺~岡山藩主池田氏菩提寺の至宝と文化~ (岡山県立博物館)	26.10.10~11.16	—	—	30万円
		倉魂!高校生コミック・イラストコンクール 2014(協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷公民館)	26.11.26~30	—	—	10万円
共通	RSKラジオ「おかもやま元気応援団! 2014」(編成通提供) 助成団体活動状況報告 22団体	26.9.3~11.19	—	—	—	

事業の記録

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額	
25	スポーツ	厚生労働大臣杯争奪第63回全日本実業柔道団体対抗大会(協賛)(岡山県体育館 桃太郎アリーナ)	25.6.15 ~ 16	—	—	10万円	
		第36回岡山県道場少年剣道大会(後援)(倉敷市玉島の森体育館)	25.6.22	—	—	名義	
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	25.9.21 ~ 22	258通	145名	現物寄贈	
		チケットプレゼント プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対島根サノオマジック」 (備前市総合運動公園体育館)	25.10.27	43通	20名	35万円	
		「第32回山陽女子ロードレース大会」(協賛)(岡山市内)	25.12.23	—	—	105万円	
	文化	成通グループ・(公財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	26.3.2	—	96名	—	
		チケットプレゼント 東北楽天ゴールデンイーグルス主催プロ野球オープン戦 (マスカットスタジアム)	26.3.4 / 3.5 / 3.7 / 3.8 / 3.9	1,203通	50名	現物寄贈	
		「第9回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸)	25.5.11	—	—	10万円	
		チケットプレゼント 大野雄二&ルパンティック・ファイブルパンティック・ジャズナイト (岡山シンフォニーホール)	25.5.17	265通	25組 50名	17.5万円	
		The Wave Quartet マリンバ・リサイタル/マスタークラス(協賛) (公社)岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(共催) 講演「美作国建国1300年〜津山洋学・知は海より来る〜」白井洋輔氏(元吉備国際大学教授) (天神山文化プラザホール) 講演「日本から始まった柔道文化」古賀稔彦氏(環太平洋大学教授(柔道家・医学博士)) (天神山文化プラザホール)	25.7.20 / 9.19	—	—	39万円	
共通	創立10周年記念「表彰者色紙展/自然と遊ぶ・写真展」(主催) 第1回〜第9回までのスポーツ・文化大賞等の揮毫色紙及び信朝寛監事の 写真展示 (天神山文化プラザ)	25.8.13 ~ 8.18	—	—	88.3万円		
	書籍プレゼント 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」	~ 26.2.8	179通	28名	現物寄贈		
	倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2013(協賛) (天満屋倉敷店6階)	25.10.6 ~ 7	—	—	10万円		
	如月 水墨画展(後援) (さん太ギャラリー)	25.10.1 ~ 10	—	—	名義		
	書籍プレゼント みんなで学ぶ「ふるさと美作のあゆみ」	~ 26.2.8	71通	10名	1.5万円		
	チケットプレゼント 「レオナルド・ブツタとパリ 1913-1931」展 (岡山県立美術館)	26.2.21 ~ 4.6	336通	150組 300名	現物寄贈		
	RSKラジオ「おかやま元気応援団!2013」((株)成通提供) 助成団体活動状況報告 28団体	25.10.28 ~ 12.17	—	—	—		
	スポーツ	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	24.9.15 ~ 16	153通	120枚	20万円	
		第2回航空フェア2012(協賛) フライトシミュレーターによる少年航空教室 (岡山県岡南飛行場)	24.11.11	106	106名	42万円	
		成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	24.11.11	29チーム	200名	—	
「第31回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)		24.12.23	—	—	105万円		
チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (笠岡体育館・桃太郎アリーナ)		25.2.9・10 / 3.2・3	532	80名	28万円		
第61回備前市えびす駅伝競走大会(協賛) 成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)		25.2.11	—	—	5万円		
文化		「第8回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	25.5.12	50点	50	10万円	
		チケットプレゼント マルク・ジャガール展 -愛をめぐる追想- (岡山県立美術館)	24.7.13 ~ 8.26	479通	204名	現物寄贈	
		チケットプレゼント 前橋汀子ヴァイオリンリサイタル (岡山シンフォニーホール)	24.10.5	275通	50名	17.5万円	
		倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2012(協賛) (加計美術館)	24.10.6 ~ 28	300点	100点	10万円	
	岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「福祉と文化」講師 江草安彦氏(旭川荘)演奏/桃太郎少年合唱団 (ルネスホール)	24.10.6	—	—	30万円		
	「本物の心に残る音楽を」講師 守屋剛志(ヴァイオリニスト)演奏/ピアノ ノ中山恵氏 (天神山文化プラザ)	24.11.17	—	—	—		
	24	スポーツ	マーチング・イン・オカヤマ(協賛) (岡山駅前・さん太広場・表町商店街・石山公園・岡山市総合文化体育館)	24.10.7 ~ 8	—	—	4万円
			チケットプレゼント 人形浄瑠璃「文楽」(倉敷芸文館)	25.3.9 昼・夜の部	174通	20名	8万円
			美作国建国1300年記念事業(協賛)	25.3.22	—	—	現物寄附
			「第30回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	23.12.23	—	—	105万円
成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (倉敷マスカット球場)			24.3.4	—	88名	—	
文化		チケットプレゼント プロ野球オープン戦 (倉敷マスカット球場)	24.3.10	305	46	—	
		「第7回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	23.5.14	—	—	10万円	
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「伝統文化を学びなおす-和魂ルネサンス」 講師 梶田毅一氏(環太平洋大学長)(ルネスホール)	23.8.22、8.24	—	—	30万円	
		講師 坂手洋二氏(劇作家・演出家)(天神山文化プラザホール)	—	—	—	—	
		マーチング・イン岡山(協賛) (岡山駅前・さん太広場他)	H23.10.9 ~ 10	—	—	4万円	
22	スポーツ	「川島基&松本和将スーパーピアノデュオリサイタル」 (岡山シンフォニーホール)	23.11.3	2,326	1,700名	217.8万円	
		岡山県民俗芸能大会(協賛) (奈義町文化ホール)	23.11.19 ~ 20	—	—	10万円	
		「男子第49回女子第40回 西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山総合グラウンド体育館)	22.7.10 ~ 14	—	—	2万円	
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催 (岡山ドーム)	22.8.5	—	92名	28.8万円	
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.12.23	—	—	105万円	
	文化	チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (桃太郎アリーナ)	23.3.13	410	100名	25万円	
		「第6回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	22.5.15	—	—	10万円	
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「音楽と私」ピアニスト 松本 和将氏 「音楽と私」メゾソプラノ 伊藤 宏恵氏 「彫刻の見方」彫刻家 蛭田 二郎氏	22.8.25、8.28、9.1	—	—	47万円	
		チケットプレゼント 「川島 基ピアノリサイタル」 (さん太ホール)	22.9.26	—	30名	10.5万円	
		チケットプレゼント 特別展「モネとジヴェルニーの画家たち」 チケットプレゼント(成通グループ提供) アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」 (倉敷公民館・さん太ホール)	23.2.25 ~ 4.10	527	300名	4.5万円	
21	スポーツ	「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山市総合文化体育館)	21.8.7 ~ 9	—	—	2万円	
		「第2回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	21.8.22 ~ 23	—	—	10万円	
		「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」(協賛) (桃太郎スタジアム)	21.9.25 ~ 27	—	—	10万円	
		「マルセン少年バレーボール教室」 (山陽ふれあい公園体育館)	21.10.18	—	85名	37万円	
		「第28回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	21.12.23	—	—	105万円	
	文化	「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.5.16	—	—	10万円	
		チケットプレゼント 「朝鮮王朝の絵画と日本」 (岡山県立美術館)	21.6.5 ~ 7.12	187通	200名	16.6万円	
		絵はがき(写真コンテスト入賞作品)	21.7.25 ~ 29 募集	206通	150名	15.2万円	
		「スポーツ・文化の振興」論文募集・入賞者表彰式 岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「モネと日本-睡蓮がっなく世界」高階秀爾大原美術館長 「古筆の魅力」島谷弘幸東京国立博物館学芸研究部長	21.9.1 ~ 10.31 募集	25点	7点	25.4万円	
		「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	21.10.11 ~ 12	—	—	10万円	
20	文化	「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	22.2.21	—	—	5万円	
		「アンデルセン in ホテルオークラ岡山」(協賛)	—	—	—	—	
		チケットプレゼント 「悠久への回帰 高橋秀展」 (岡山県立美術館)	22.3.5 ~ 4.4	178	100名	8.4万円	

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
24	文化	マーチング・イン・オカヤマ(協賛) (岡山駅前・さん太広場・表町商店街・石山公園・岡山市総合文化体育館)	24.10.7 ~ 8	—	—	4万円
		チケットプレゼント 人形浄瑠璃「文楽」(倉敷芸文館)	25.3.9 昼・夜の部	174通	20名	8万円
		美作国建国1300年記念事業(協賛)	25.3.22	—	—	現物寄附
		「第30回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	23.12.23	—	—	105万円
		成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (倉敷マスカット球場)	24.3.4	—	88名	—
	スポーツ	チケットプレゼント プロ野球オープン戦 (倉敷マスカット球場)	24.3.10	305	46	—
		「第7回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	23.5.14	—	—	10万円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「伝統文化を学びなおす-和魂ルネサンス」 講師 梶田毅一氏(環太平洋大学長)(ルネスホール)	23.8.22、8.24	—	—	30万円
		講師 坂手洋二氏(劇作家・演出家)(天神山文化プラザホール)	—	—	—	—
		マーチング・イン岡山(協賛) (岡山駅前・さん太広場他)	H23.10.9 ~ 10	—	—	4万円
23	文化	「川島基&松本和将スーパーピアノデュオリサイタル」 (岡山シンフォニーホール)	23.11.3	2,326	1,700名	217.8万円
		岡山県民俗芸能大会(協賛) (奈義町文化ホール)	23.11.19 ~ 20	—	—	10万円
		「男子第49回女子第40回 西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山総合グラウンド体育館)	22.7.10 ~ 14	—	—	2万円
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催 (岡山ドーム)	22.8.5	—	92名	28.8万円
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.12.23	—	—	105万円
	スポーツ	チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (桃太郎アリーナ)	23.3.13	410	100名	25万円
		「第6回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	22.5.15	—	—	10万円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「音楽と私」ピアニスト 松本 和将氏 「音楽と私」メゾソプラノ 伊藤 宏恵氏 「彫刻の見方」彫刻家 蛭田 二郎氏	22.8.25、8.28、9.1	—	—	47万円
		チケットプレゼント 「川島 基ピアノリサイタル」 (さん太ホール)	22.9.26	—	30名	10.5万円
		チケットプレゼント 特別展「モネとジヴェルニーの画家たち」 チケットプレゼント(成通グループ提供) アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」 (倉敷公民館・さん太ホール)	23.2.25 ~ 4.10	527	300名	4.5万円
22	文化	「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山市総合文化体育館)	21.8.7 ~ 9	—	—	2万円
		「第2回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	21.8.22 ~ 23	—	—	10万円
		「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」(協賛) (桃太郎スタジアム)	21.9.25 ~ 27	—	—	10万円
		「マルセン少年バレーボール教室」 (山陽ふれあい公園体育館)	21.10.18	—	85名	37万円
		「第28回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	21.12.23	—	—	105万円
	スポーツ	「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.5.16	—	—	10万円
		チケットプレゼント 「朝鮮王朝の絵画と日本」 (岡山県立美術館)	21.6.5 ~ 7.12	187通	200名	16.6万円
		絵はがき(写真コンテスト入賞作品)	21.7.25 ~ 29 募集	206通	150名	15.2万円
		「スポーツ・文化の振興」論文募集・入賞者表彰式 岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「モネと日本-睡蓮がっなく世界」高階秀爾大原美術館長 「古筆の魅力」島谷弘幸東京国立博物館学芸研究部長	21.9.1 ~ 10.31 募集	25点	7点	25.4万円
		「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	21.10.11 ~ 12	—	—	10万円
21	文化	「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	22.2.21	—	—	5万円
		「アンデルセン in ホテルオークラ岡山」(協賛)	—	—	—	—
		チケットプレゼント 「悠久への回帰 高橋秀展」 (岡山県立美術館)	22.3.5 ~ 4.4	178	100名	8.4万円

事業の記録

平成27年度 収支計算書(損益計算ベース) (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
20	スポーツ	「第31回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	20.6.7	—	—	10万円
		「第1回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	20.8.23~24	—	—	10万円
		「第27回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	20.12.23	—	—	105万円
		「マルゼン少年陸上競技教室」開催 講師 山口衛里(天満屋女子陸上部コーチ) (県陸上競技場・補助グラウンド)	21.3.8	—	255名	32万円
		「第24回全国高等学校新体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.26~28	—	—	10万円
	文化	「第25回全国高等学校新体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.28~29	—	—	10万円
		「第4回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館)	20.5.10	—	—	10万円
		チケットプレゼント 「おかやま国際音楽祭2008」(成通グループ提供) (岡山城天守閣前広場)	20.10.4	444通	100名	—
		岡山学びフェスタ2008「マルゼンバレエアート教室」開催 (岡山県生涯学習センター)	20.11.9	—	220名	7.4万円
		「おかやま子ども民俗芸能大会」(協賛) (倉敷芸文館)	20.11.8	—	—	10万円
19	スポーツ	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 講演 熊倉功夫 伊勢崎 淳	20.11.30 / 12.21	—	—	35万円
		「マルゼン写真コンテスト及び写真展」開催 (天満屋岡山店地下タウン)	21.2.25~3.2	270点	36点	30万円
		「第30回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	19.6.9	—	—	10万円
		「第26回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	19.12.23	—	—	105万円
		「第56回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	20.2.11	—	—	10万円
	文化	「マルゼン少年サッカー教室」開催 ～湯郷 Belle の選手を招いて～ (岡山ドーム)	20.3.8	—	207名	43万円
		「第3回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	19.5.12	—	—	10万円
		くらしきウイーク 2007 in Kansas City (協賛)	19.7.25~8.1	—	—	10万円
		岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 「書道」「美術」「シンポジウム」	19.9.9・15・23	—	—	35万円
		第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」「生涯学習見本市」へ出展(桃太郎アリーナ) 「受賞者の写真・高橋大輔選手のコスチューム」等展示	19.11.2~6	—	—	48万円
18	スポーツ	県総合グラウンド入場者 17万2千人	—	—	—	—
		「第25回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	18.12.23	—	—	105万円
		「第55回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	19.2.11	—	—	10万円
		「ポスト国体・フラワーロード事業」(協賛)	—	—	—	10万円
		「第2回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館 展覧会 倉敷市立美術館)	18.5.13	—	—	10万円
	文化	「川島 基ピアノリサイタル」開催 (岡山県立美術館ホール)	18.11.3	431通	200名	約40万円
		コミュニティライブラリーの開設 「晴れの国おかやま国体写真展 あの感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナー設置(岡山会館1階)	18.8.4~19.2.16	—	—	—
		岡山桃太郎アリーナ落成記念 「オリンピックメダリスト体操競技演技会」(協賛)	17.6.5	—	—	21万円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	105万円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.2.11	—	—	10万円
17	スポーツ	チケットプレゼント 松本和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタベ」 (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	—	100名	30万円
		チケットプレゼント 岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」	17.10.21~12.18	452件	100名	9万円
		「あそべる!おもちゃ展」(協賛) (岡山デジタルミュージアム)	18.2.17~22	—	—	10万円
		「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	105万円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	17.3.11	710件	100名	36万円
	文化	「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	105万円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.2.11	—	—	10万円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	105万円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.2.11	—	—	10万円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	105万円

(単位:円)

科目	予算額			決算額			増減
	当初	更正	更正後	公益部門	管理部門	合計	
* 一般正味財産増減のみ							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	25,000	0	25,000	25,068	0	25,068	68
定期預金利息	25,000	0	25,000	25,068	0	25,068	68
受取寄付金	19,966,263	0	19,966,263	16,390,038	3,609,962	20,000,000	33,737
受取寄付金	19,966,263	0	19,966,263	16,390,038	3,609,962	20,000,000	33,737
雑収益	0	0	0	902	102	1,004	1,004
受取利息	0	0	0	902	102	1,004	1,004
雑収入	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	19,991,263	0	19,991,263	16,416,008	3,610,064	20,026,072	34,809
(2) 経常費用							
事業費	18,570,000	46,000	18,616,000	18,641,550	0	18,641,550	△25,550
役員報酬	0	11,500	11,500	11,136	0	11,136	364
給料手当	2,700,000	663,500	3,363,500	3,363,327	0	3,363,327	173
法定福利費	90,000	150,500	240,500	240,304	0	240,304	196
福利厚生費	0	10,000	10,000	9,720	0	9,720	280
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0
荷造運賃	145,000	54,000	199,000	198,619	0	198,619	381
賃借料	497,000	△64,000	433,000	432,520	0	432,520	480
諸会費	0	0	0	0	0	0	0
交際接待費	100,000	187,500	287,500	287,226	0	287,226	274
旅費交通費	163,000	△27,500	135,500	135,377	0	135,377	123
通信費	235,000	△86,000	149,000	148,997	0	148,997	3
消耗品費	790,000	△435,000	355,000	354,618	0	354,618	382
租税公課	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
地代・家賃	2,700,000	216,000	2,916,000	2,916,000	0	2,916,000	0
保険料	0	19,500	19,500	19,362	0	19,362	138
修繕費	90,000	△90,000	0	0	0	0	0
助成事業費	2,200,000	△132,000	2,068,000	2,067,650	0	2,067,650	350
表彰事業費	3,800,000	500,000	4,300,000	4,300,000	0	4,300,000	0
イベント事業費	1,000,000	△442,000	558,000	558,000	0	558,000	0
資料収集費(広報啓発事業費)	300,000	△263,500	36,500	36,461	0	36,461	39
印刷費	400,000	281,500	681,500	681,480	0	681,480	20
後援費	1,500,000	△20,000	1,480,000	1,480,000	0	1,480,000	0
雑費	1,860,000	△488,000	1,372,000	1,400,753	0	1,400,753	△28,753
管理費	1,421,263	△46,000	1,375,263	0	1,372,330	1,372,330	2,933
役員報酬	304,263	△53,500	250,763	250,560	0	250,560	203
給料手当	300,000	74,000	374,000	373,703	0	373,703	297
福利厚生費	10,000	△8,500	1,500	1,080	0	1,080	420
法定福利費	0	27,000	27,000	26,700	0	26,700	300
退職金	0	150,000	150,000	150,000	0	150,000	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0
荷造運賃	5,000	△3,500	1,500	1,024	0	1,024	476
事業引当金	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0
交際接待費	100,000	△36,000	64,000	63,810	0	63,810	190
旅費交通費	37,000	11,500	48,500	48,296	0	48,296	204
通信費	25,000	△1,000	24,000	23,701	0	23,701	299
消耗品費	10,000	△500	9,500	9,342	0	9,342	158
租税公課	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
地代・家賃	300,000	24,000	324,000	324,000	0	324,000	0
修繕費	10,000	△10,000	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0
印刷費	0	0	0	0	0	0	0
雑費	310,000	△219,500	90,500	90,114	0	90,114	386
経常費用計	19,991,263	0	19,991,263	18,641,550	1,372,330	20,013,880	△22,617
当期経常増減額	0	0	0	△2,225,542	2,237,734	12,192	12,192
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
正味財産期首残高	2,225,542	2,225,542	2,225,542	2,225,542	0	2,225,542	0
正味財産期末残高	2,225,542	2,225,542	2,225,542	0	2,237,734	2,237,734	12,192

貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	3,553,016	2,940,067	612,949
未収金	114,189	97,995	16,194
仮払金	10,160		10,160
未収消費税			0
前払費用	27,000	27,000	0
貯蔵品	5,886	6,131	△ 245
流動資産合計	3,710,251	3,071,193	639,058
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
資産合計	103,710,251	103,071,193	639,058
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,460,884	828,513	632,371
預り金	11,633	17,138	△ 5,505
未払消費税等	0	0	0
未払法人税等	0	0	0
流動負債合計	1,472,517	845,651	626,866
2 固定負債			0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,472,517	845,651	626,866
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
その他一般正味財産	2,237,734	2,225,542	12,192
一般正味財産合計	2,237,734	2,225,542	12,192
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	102,237,734	102,225,542	12,192
負債及び正味財産合計	103,710,251	103,071,193	639,058